

### Ⅲ 普天間飛行場周辺測定結果

#### 1 概要

普天間飛行場周辺における各測定局の配置状況及び測定期間内における Lden を図 F 1 に、また測定結果の概要を表 F 1 に示す。

各測定局における環境基準の類型指定状況は、15 測定局中、類型 I が 11 局、類型 II が 2 局、類型未指定が 2 局となっている。

※大山局は令和 6 年 3 月から移設した設置場所で測定を開始しており、移設に伴い環境基準の地域類型が類型 II から類型 I に変更となったため、大山局の移設後は類型 I が 12 局、類型 II が 1 局、類型未指定が 2 局となっている。

これらの測定局では、年間を通して常時測定を行っており、全 15 局がオンラインで県測定本部へ接続されている。

※牧港局及び当山局（類型 I 型）並びに内間局（類型未指定）は 2 ヶ月以上の欠測期間があったため参考値扱いとし、通年測定の評価から除いている。

#### 2 測定結果

##### (1) Lden について

測定期間内における Lden（※P. 86-87 参照）を表 F 1 及び図 F 2 に示す。

環境基準値を超過した測定局は、類型指定されている評価可能な 11 測定局中 2 局（約 18%）で、野嵩局及び上大謝名局であった。

また、最大値は、上大謝名局の 62dB（基準値 57dB）で前年度から 1 dB 減少した。

##### (2) WECPNL について

平成 24 年度までの環境基準の評価指標であった測定期間内における WECPNL（※P. 88~89 参照）を表 F 1 及び図 F 3 に示す。

類型指定されている評価可能な 11 測定局中 3 局（約 27%）で旧環境基準値（I 型：70）を超えており、最大値は上大謝名局の 80 であった。

##### (3) 1 日当たりの騒音発生回数について

測定期間内における 1 日当たりの騒音発生回数を表 F 1 及び図 F 4 に示す。

前年度と比較可能な 12 測定局において、新城局における 38.2 回/日が最も多く、前年度最多であった上大謝名局の 34.2 回/日から増加した。

また、12 測定局中 5 局（約 42%）で増加し、7 局（約 58%）が減少となった。

##### (4) 月別の Lden と 1 日当たりの騒音発生回数について

月別の Lden と 1 日当たりの騒音発生回数を図 F 5 ~ 5-4 に示す。

月別の Lden では、環境基準値（I 型：57dB、II 型：62dB）を超える月が最も多かったのは上大謝名局で、環境基準値を超えた月は 11 か月あった。

また、月別の1日当たりの騒音発生回数で最も多かったのは、新城局で令和6年3月に観測された62.8回/日であった。

#### (5) 平均ピークレベルと最大ピークレベルについて

測定期間内における平均ピークレベルと最大ピークレベルを表F 1に、月別の平均ピークレベルと最大ピークレベルの状況を図F 6～6-4に示す。

測定期間内の平均ピークレベルは、前年度と比較可能な12測定局中6局(50%)で80dBを超えており、このうち、上大謝名局の90.2dBが最も高かった。また、上大謝名局では毎月、月平均ピークレベルが80dBを超えていた。

月別の最大ピークレベルをみると、上大謝名局及び新城局では、100dB以上を記録した月が9か月あり、令和5年4月には上大謝名局で普天間飛行場周辺の測定局中最大の120.6dBを記録した。

#### (6) 曜日別の騒音発生回数について

曜日別の平均騒音発生回数を表F 2及び図F 7～7-2に示す。

月曜日から金曜日の平日に多く、土曜日及び日曜日に比較的少ない傾向がみられる。

#### (7) 時間帯別の月平均騒音発生回数について

0時から7時(N1)、7時から19時(N2)、19時から22時(N3)、22時から24時(N4)の各時間帯における月平均騒音発生回数(回/月)及び航空機騒音規制措置(日米合同委員会合意事項:H8.3.28、P.94-95参照)で飛行等が制限されている22時から翌朝6時の間の騒音発生回数(回/月)を表F 3に示す。

月平均騒音発生回数をみると、ほとんどの測定局で、7時から19時(N2)までの間の騒音発生回数が1日の騒音発生回数の80%以上を占めているが、深夜22時～早朝7時(N1+N4)にも観測されている。

22時から翌朝6時の間の月平均騒音発生回数は、前年度との比較が可能な全12局で増加したほか、大山局の51.3回/月が最も多く、前年度最多であった同局の36.5回/月から増加した。

#### (8) 1日ごとの環境基準(Ldenが57dB又は62dB)を超過した日数について

測定局ごとに測定した日数と1日ごとのLden57dB(地域類型Ⅰ)又は62dB(地域類型Ⅱ)を超過した日数を表F 4及び図F 8に示す。

1日ごとのLdenの環境基準の超過率が最も高いのは上大謝名局で38.5%(358日中138日)であった。

なお、環境基準の達成評価は、通年測定の場合、年間平均Ldenにより行うこととなっている。

### (9) WECPNL、Lden と 1 日当たりの騒音発生回数の年度別推移について

年間平均の WECPNL、Lden 及び 1 日当たりの騒音発生回数（回/日）の年度別推移を図 F 9～9-4 に示す。

WECPNL は、多くの測定局で概ね横ばいで推移しており、上大謝名局及び野嵩局では、ほぼ毎年、旧環境基準値を超過している。

### (10) 航空機騒音規制措置合意前後の騒音発生状況について

航空機騒音規制措置合意前の平成 7 年度から継続して測定している野嵩局、平成 9 年度に設置した上大謝名局及び新城局について、WECPNL と夜間・早朝（22 時から翌朝 7 時まで）の騒音発生回数（回/月）の年度別推移を表 F 5 及び図 F 10～10-2 に示す。

WECPNL は、上大謝名局及び野嵩局は、ほぼ毎年、旧環境基準値を超過する値で推移しており、新城局は旧環境基準値の前後で推移しているが、3 局とも明確な軽減は見られない。

夜間・早朝の騒音発生回数は、増減しながら推移しているが、令和 5 年度は 3 局とも前年度を上回っていた。

### (11) Lnight と月別の夜間・早朝騒音発生回数について

測定期間内における平均 Lnight（※P. 86-87 参照）を表 F 1 に示す。また、月別の Lnight と夜間・早朝（22 時から翌朝 7 時まで）の騒音発生回数について図 F 11～11-4 に示す。

測定期間内の平均 Lnight は、新城局及び大山局の 35dB が最も高かった。

月別の Lnight については、野嵩局及び新城局で 40dB を超える月が 1 か月あった。

月別の夜間・早朝騒音発生回数については、大山局で令和 5 年 11 月に最大値 95 回/月を記録した。

## 3 まとめ

### ○環境基準値を超過した測定局

- ・ 類型指定されている評価可能な 11 測定局中 2 局（約 18%）で環境基準を超過した。
- ・ 最大値は上大謝名局の 62dB（基準値 57dB）で、前年度から 1 dB 減少した。

### ○1 日当たりの騒音発生回数

- ・ 前年度と比較可能な 12 測定局中、新城局の 38.2 回/日が最も多かった。
- ・ 前年度と比べて 12 測定局中 5 局（約 42%）で増加し、7 局（約 58%）が減少となった
- ・ 月曜日から金曜日までの平日に騒音の発生が多い傾向がみられる。

### ○平均ピークレベル及び最大ピークレベル

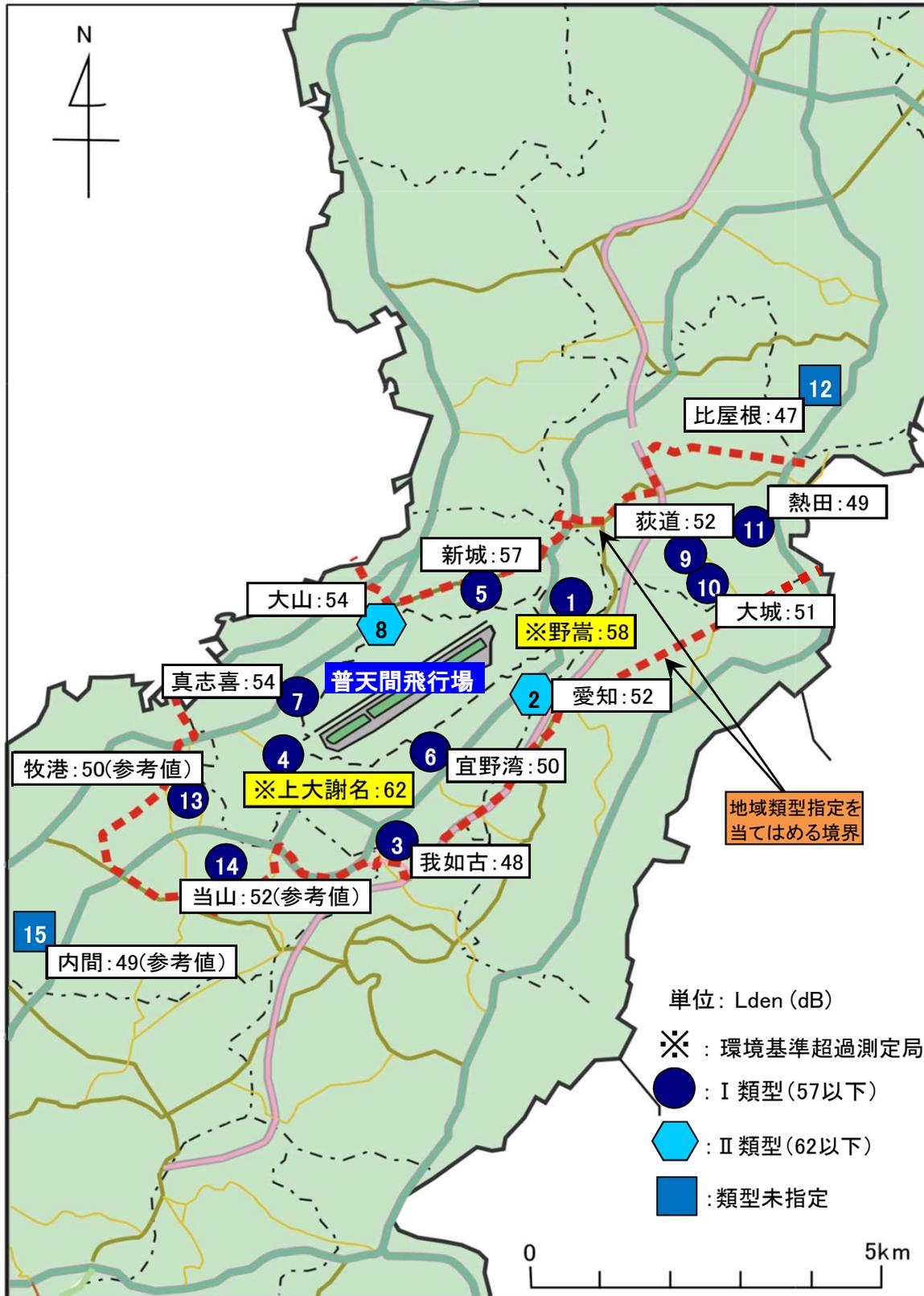
- ・測定期間中の平均ピークレベルは、12 測定局中 6 局（50%）で 80dB を超えた。
- ・最大ピークレベルは令和 5 年 4 月に上大謝名局で観測された 120.6dB が最大であった。

### ○航空機騒音規制措置合意前後の状況

- ・WECPNL は、平成 7 年度以降、継続して測定している 3 局のうち、上大謝名局及び野嵩局で、ほぼ毎年、旧環境基準値を超過する値で推移している。
- ・夜間・早朝（22 時～7 時）騒音発生回数は、増減しながら推移しているが、令和 5 年度は 3 局とも前年度を上回っていた。

### ○Lnight

- ・測定期間内の平均 Lnight は、新城局及び大山局の 35dB が最も高かった。



図F1 普天間飛行場周辺における航空機騒音測定結果

表 F 1 航空機騒音測定結果の概要 (普天間)

No.	測定地点		環境基準値		測定期間内 平均 Lden(dB)	測定期間内 平均 WEPNL	1日あたりの 騒音発生回数	最大ピークレベル (dB)	平均ピークレベル (dB)	測定期間内 平均 Lnight(dB)	1日あたりの騒音 継続累積時間	測定期間	測定 日数
	測定局名 (管理者)		類型	Lden (dB)									
1	野嵩	(沖縄県)	I	57	58 (57)	74 (72)	21.2 (23.5)	115.0 (112.4)	85.6 (83.6)	33 (23)	5分43秒	R5.4.1 ~ R6.3.31	362
2	愛知	(沖縄県)	II	62	52 (46)	67 (60)	12.1 (11.5)	110.4 (98.1)	80.4 (74.9)	25 (19)	4分25秒	R5.4.1 ~ R6.3.31	364
3	我如古	(沖縄県)	I	57	48 (48)	63 (62)	11.1 (11.9)	104.1 (100.5)	76.8 (76.5)	27 (22)	3分48秒	R5.4.1 ~ R6.3.31	365
4	上大謝名	(沖縄県)	I	57	62 (63)	80 (79)	32.1 (34.2)	120.6 (118.8)	90.2 (89.0)	31 (36)	9分3秒	R5.4.1 ~ R6.3.31	358
5	新城	(沖縄県)	I	57	57 (56)	72 (70)	38.2 (31.6)	108.0 (107.3)	80.8 (80.0)	35 (29)	14分25秒	R5.4.1 ~ R6.3.31	364
6	宜野湾	(沖縄県)	I	57	50 (49)	65 (63)	20.8 (21.6)	108.6 (99.9)	76.9 (74.8)	28 (24)	7分47秒	R5.4.1 ~ R6.3.31	365
7	真志喜	(宜野湾市)	I	57	54 (54)	69 (68)	18.3 (20.3)	102.4 (101.1)	80.3 (79.8)	28 (24)	6分11秒	R5.4.1 ~ R6.3.31	366
8	大山	(沖縄県)	II (移設 後1)	62(移設後57)	54 (54)	69 (68)	13.4 (13.6)	100.2 (97.9)	80.4 (80.8)	35 (34)	4分44秒	R5.4.1 ~ R6.3.31	366
9	菟道	(北中城村)	I	57	52 (54)	67 (69)	20.9 (23.0)	109.4 (112.7)	79.2 (80.5)	27 (21)	7分55秒	R5.4.1 ~ R6.3.31	366
10	大城	(北中城村)	I	57	51 (53)	66 (68)	28.4 (28.2)	100.9 (106.4)	76.4 (78.0)	28 (21)	10分18秒	R5.4.1 ~ R6.3.31	366
11	熱田	(北中城村)	I	57	49 (50)	65 (64)	19.5 (18.7)	101.5 (100.8)	76.2 (76.0)	26 (20)	9分59秒	R5.4.1 ~ R6.3.31	356
12	比屋根	(沖縄市)	-	-	47 (46)	63 (61)	19.0 (18.3)	100.7 (105.1)	74.3 (73.7)	26 (20)	7分25秒	R5.4.1 ~ R6.3.31	363
13	牧港	(浦添市)	I	57	50 (50)	65 (64)	23.2 (15.5)	101.5 (97.5)	77.0 (76.5)	28 (36)	8分31秒	R6.1.27 ~ R6.3.31	65
14	当山	(浦添市)	I	57	52 (49)	65 (63)	23.5 (4.8)	96.3 (94.8)	76.9 (80.7)	25 (36)	8分39秒	R6.1.26 ~ R6.3.31	66
15	内間	(浦添市)	-	-	49 (50)	63 (63)	23.5 (8.5)	92.8 (101.2)	74.6 (79.4)	24 (34)	8分2秒	R6.1.26 ~ R6.3.31	66

参考値  
参考値  
参考値

※ 測定期間内平均Ldenの下線付きの値は環境基準値超過を示す。

※ 表中の( )内の数値は前年度(令和4年度)の値を示す。

※ 常時測定局のうち測定日数が年間日数(365日又は366日)に満たないものは、停電や機器の故障もしくは台風等による欠測などの理由による。

※ Lnightは、0時~7時及び23時~24時の計8時間の平均でレベル算出した。

※ 愛知局は設置場所を移設し、令和6年2月から同設置場所での測定を開始している。

※ 大山局は設置場所を移設し、令和6年3月から同設置場所での測定を開始している。また、移設に伴い環境基準の地域類型が類型IIから類型Iに変更となっている。

※ 牧港局、当山局及び内間局は欠測期間が2ヶ月を超えるため参考値扱いとする(欠測率 牧港局:82.2%、当山局及び内間局:82.0%)。

また、同3局は令和6年1月から測定装置及び測定条件を変更している。

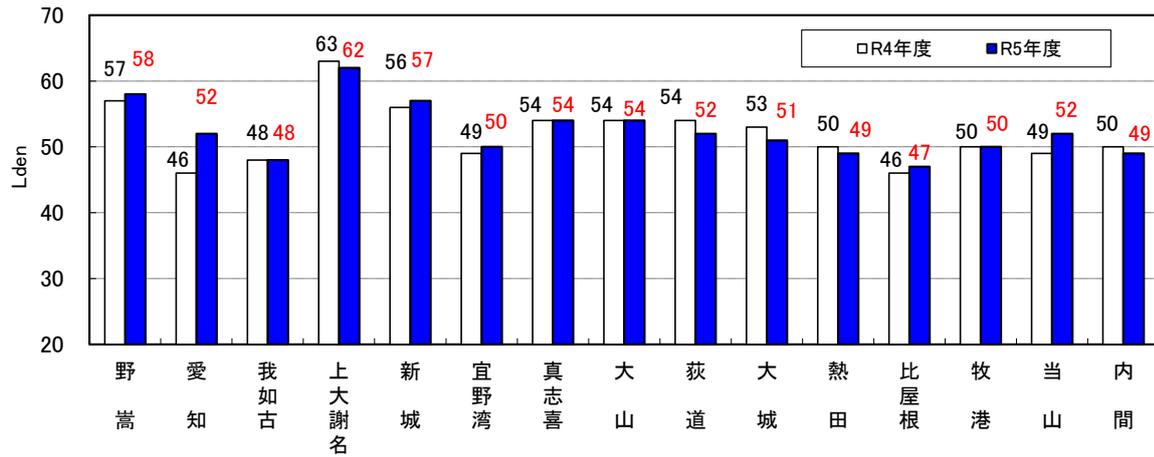


図 F 2 測定局別Lden (普天間)

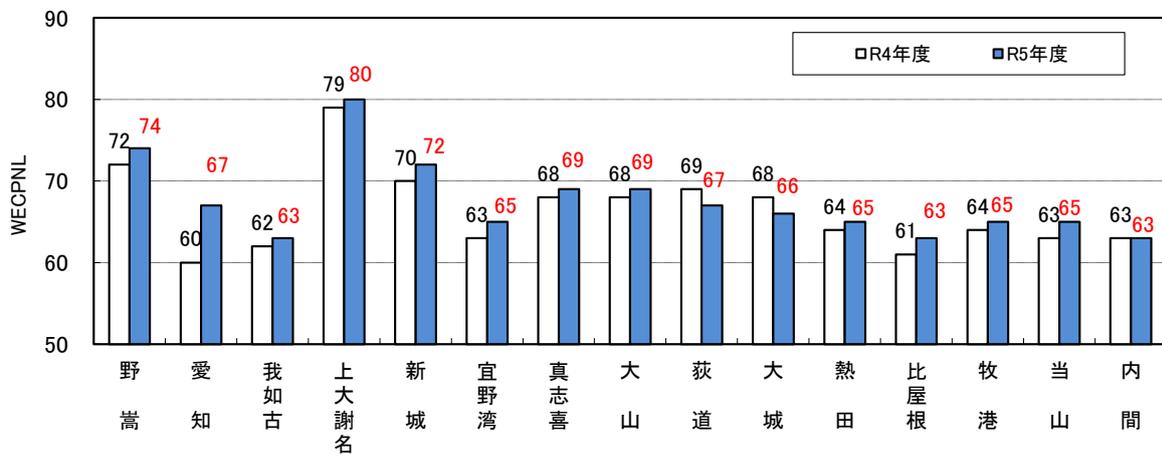


図 F 3 測定局別WECPNL (普天間)

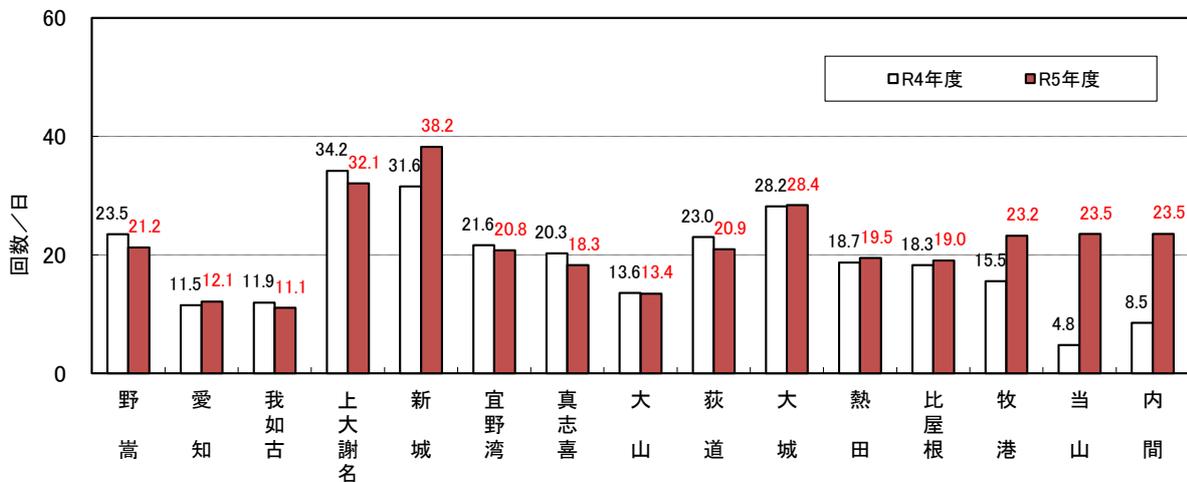
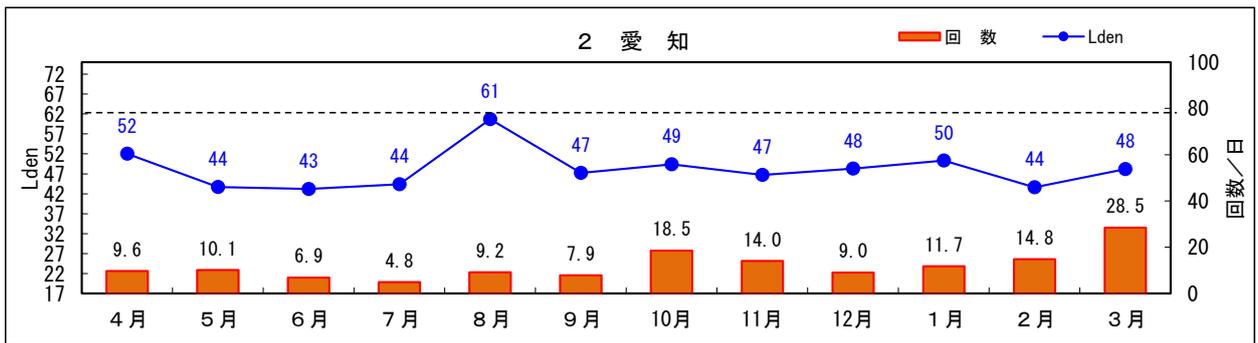
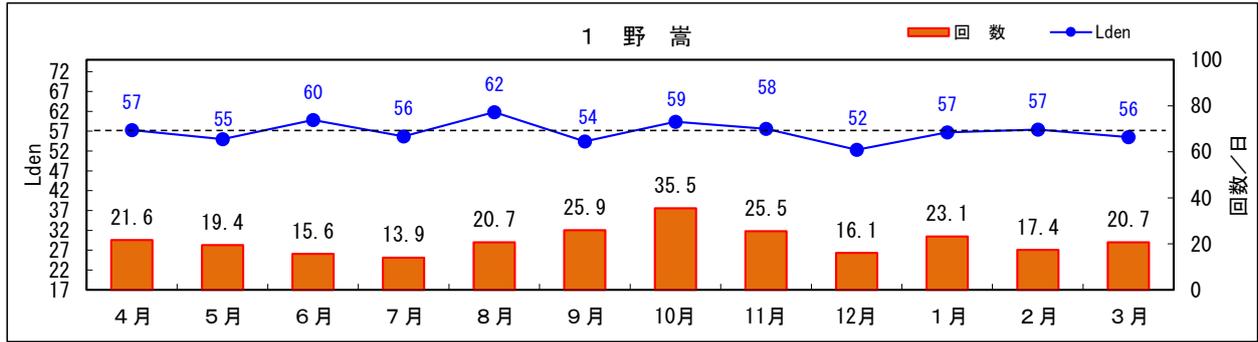
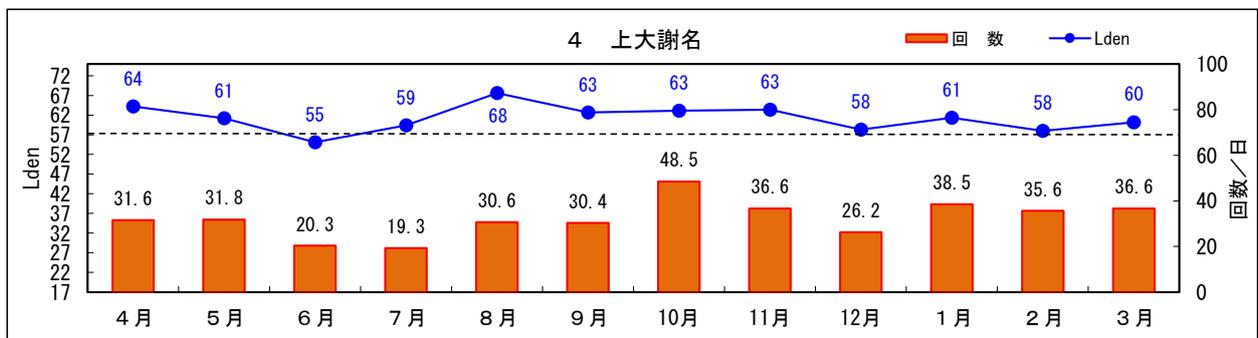
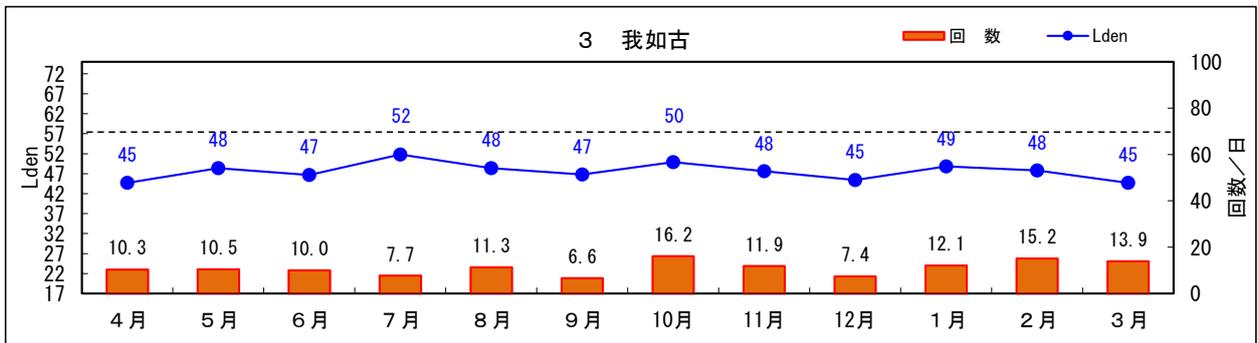


図 F 4 測定局別 1日あたりの騒音発生回数 (普天間)

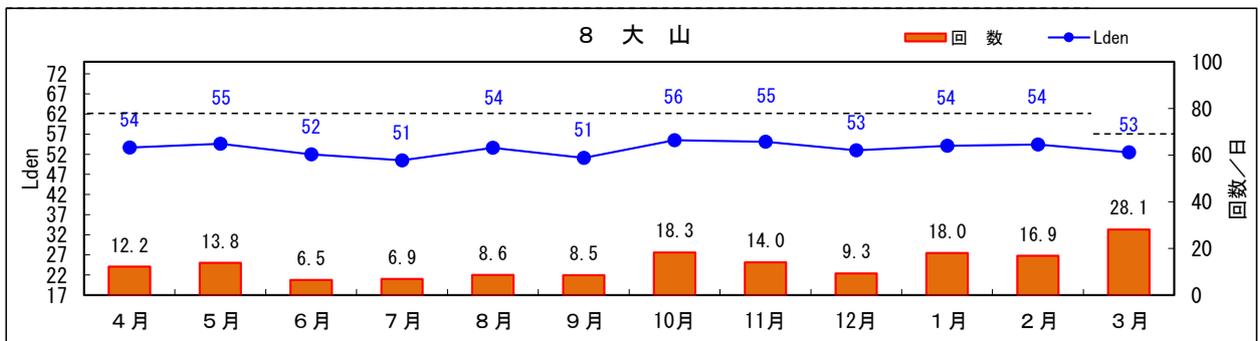
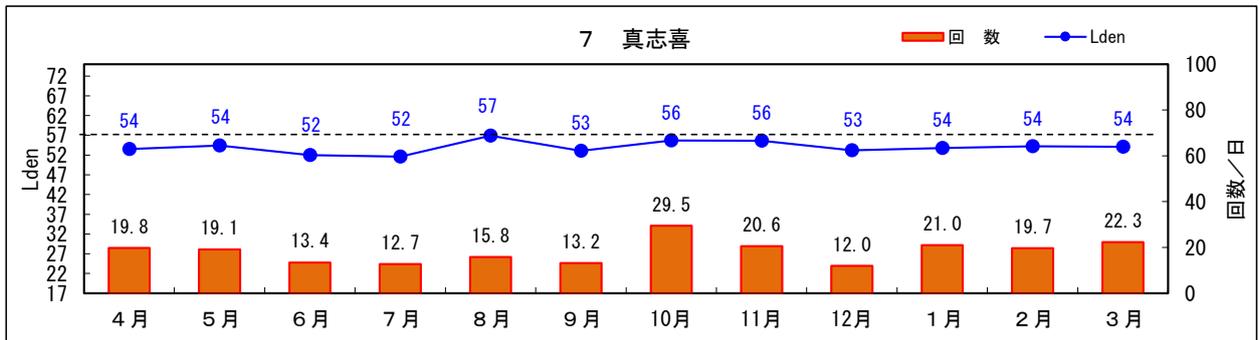
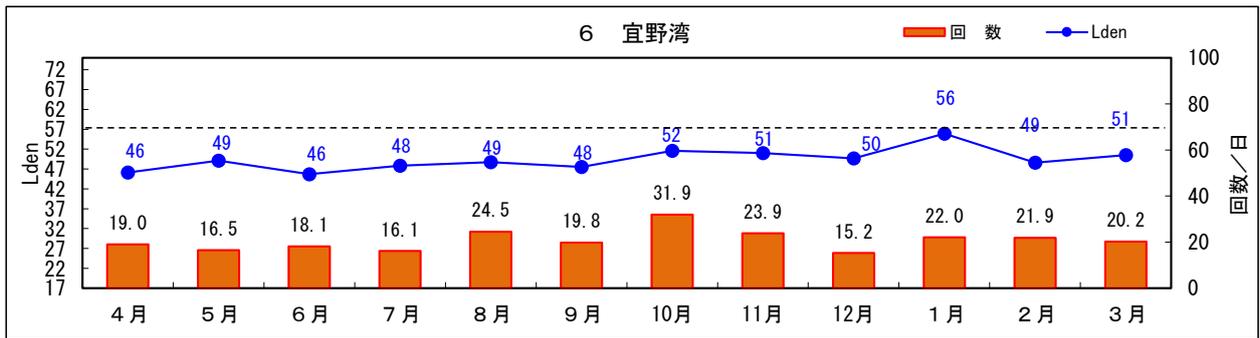
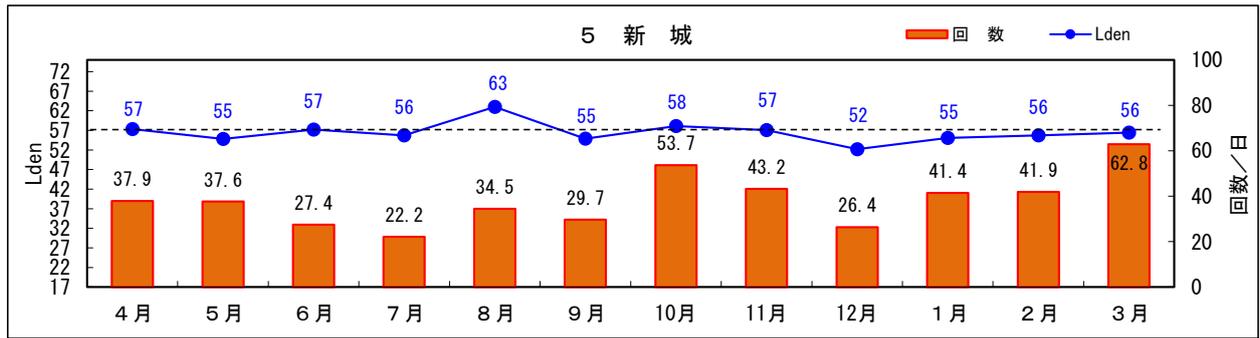


※設置場所を移設し、令和6年2月から同設置場所で測定開始。



※ 図中の横破線は環境基準値のラインを示す。

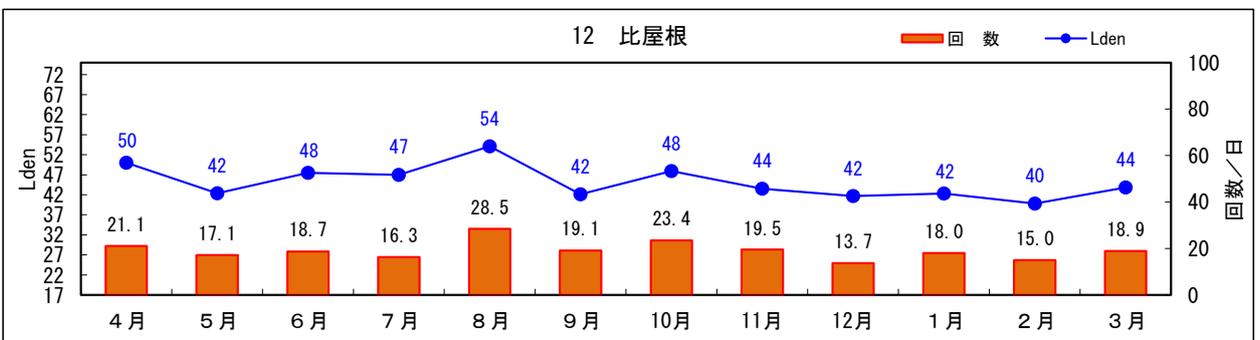
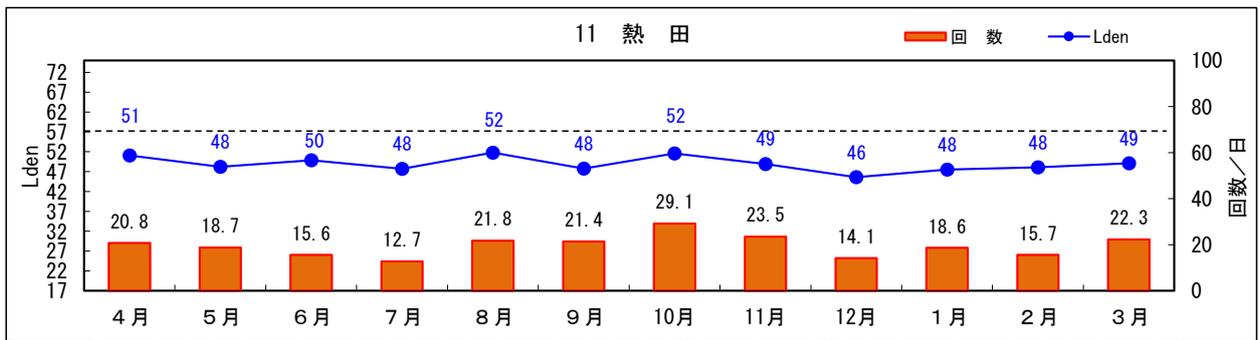
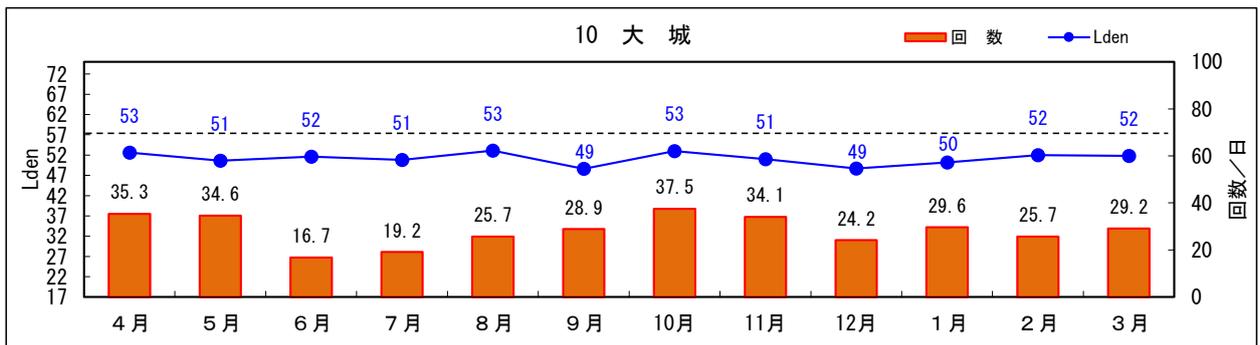
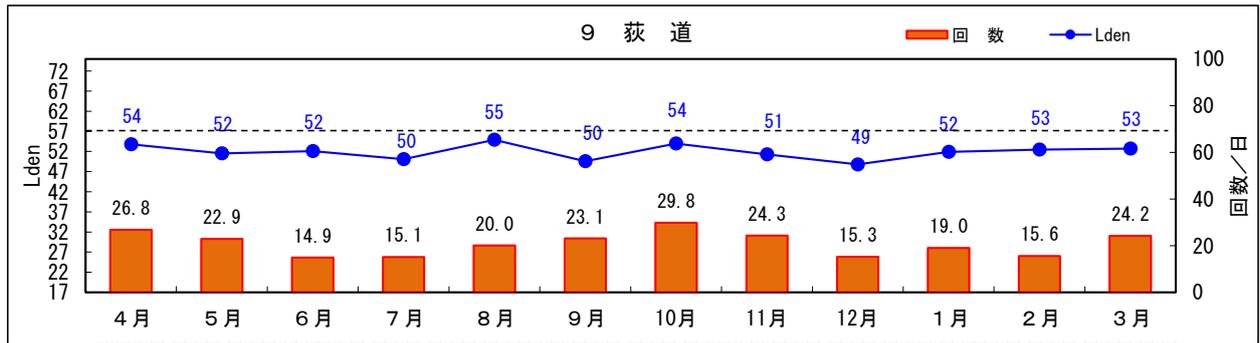
図F5 月別のLdenと1日あたりの騒音発生回数（普天間）



※設置場所を移設し、令和6年3月から同設置場所で測定開始。移設に伴い環境基準の地域類型が類型Ⅱから類型Ⅰに変更。

※ 図中の横破線は環境基準値のラインを示す。

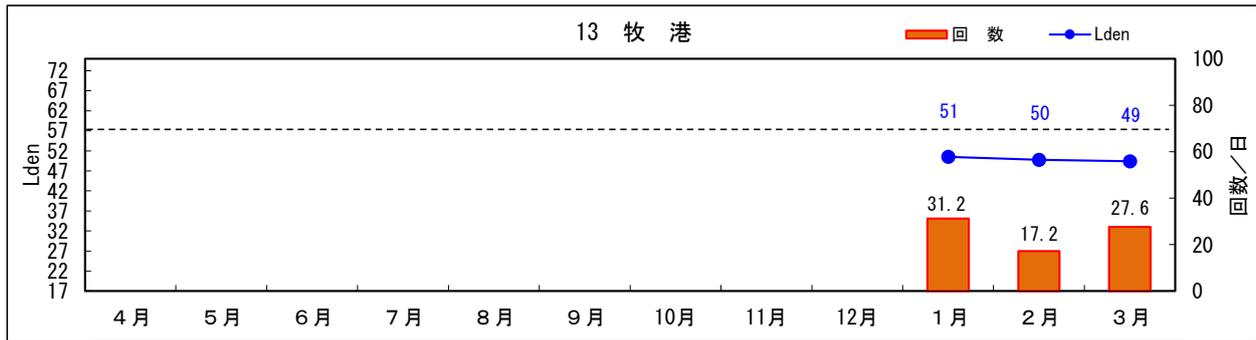
図F5-2 月別のLdenと1日あたりの騒音発生回数（普天間）



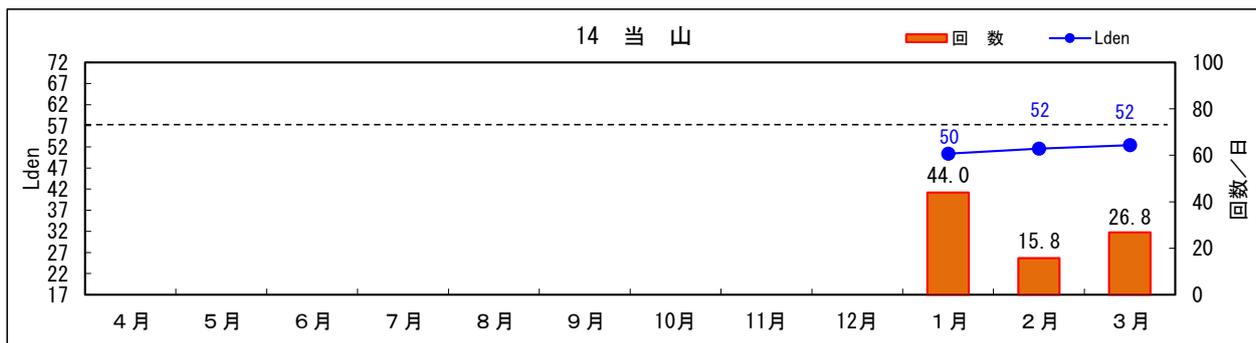
※環境基準類型未指定

※ 図中の横破線は環境基準値のラインを示す。

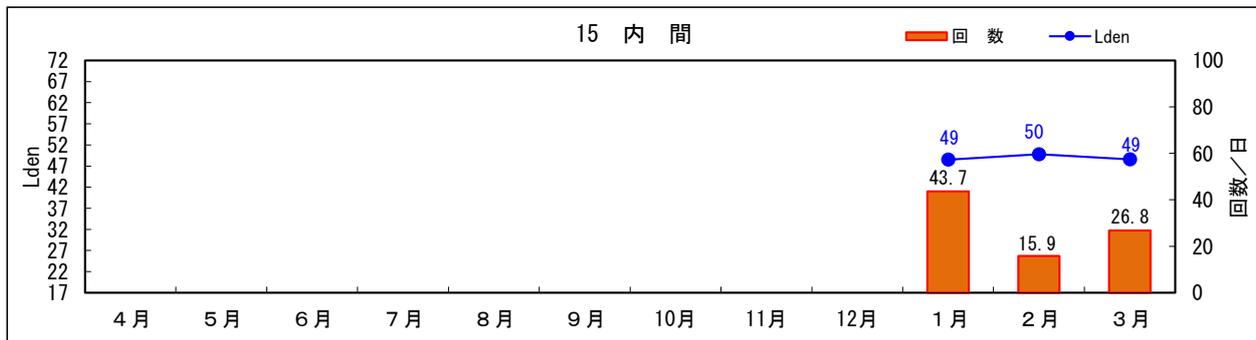
図F5-3 月別のLdenと1日あたりの騒音発生回数（普天間）



※欠測期間が2か月を超えるため参考値扱い。  
 ※令和6年1月から測定装置及び測定条件を変更。



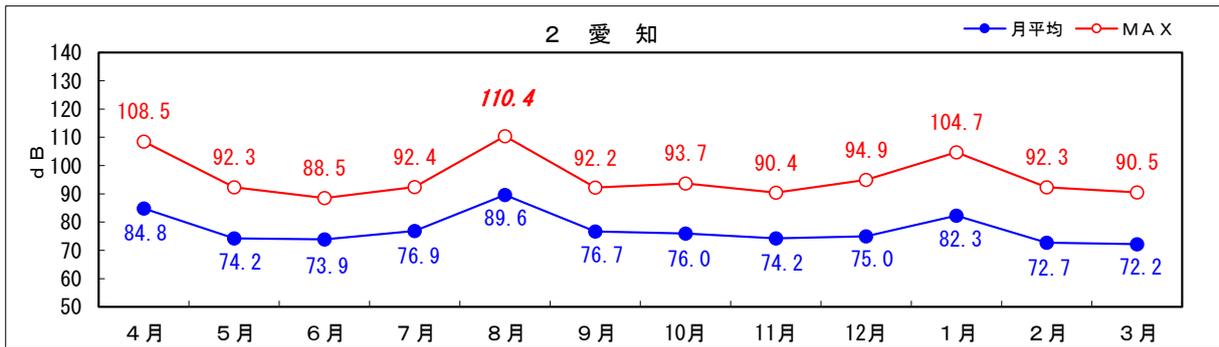
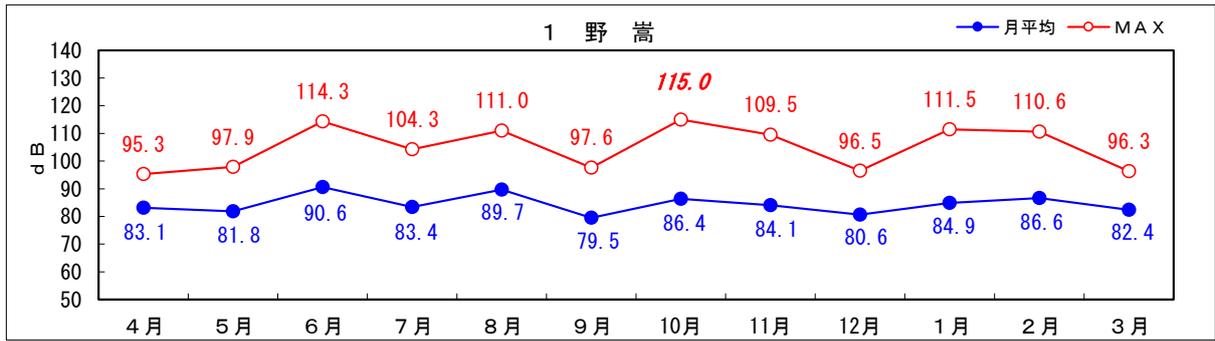
※欠測期間が2か月を超えるため参考値扱い。  
 ※令和6年1月から測定装置及び測定条件を変更。



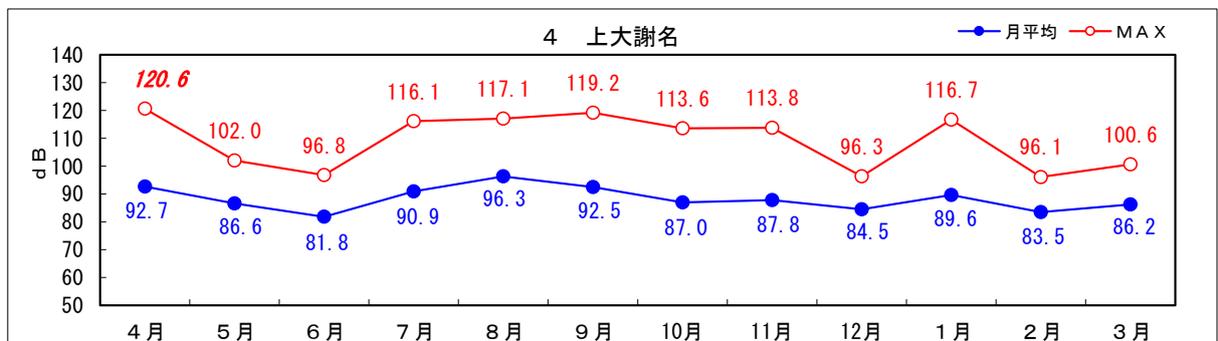
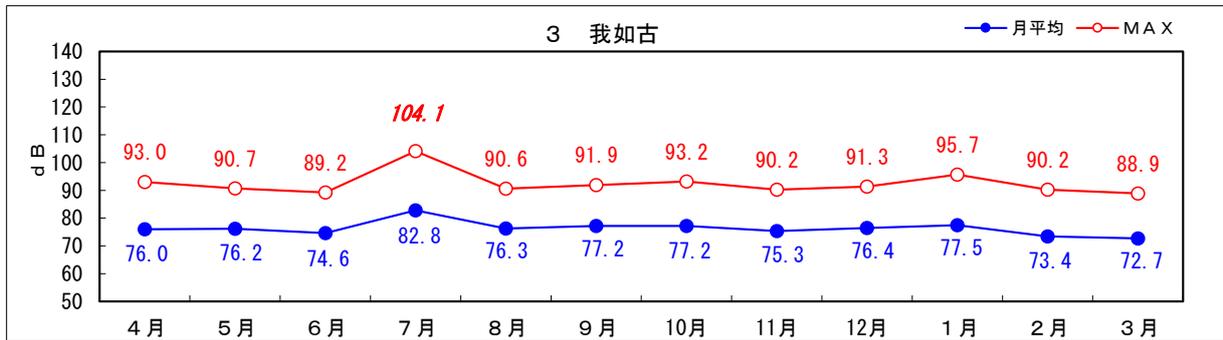
※欠測期間が2か月を超えるため参考値扱い。  
 ※令和6年1月から測定装置及び測定条件を変更。  
 ※環境基準類型未指定

※ 図中の横破線は環境基準値のラインを示す。

図F5-4 月別のLdenと1日あたりの騒音発生回数（普天間）

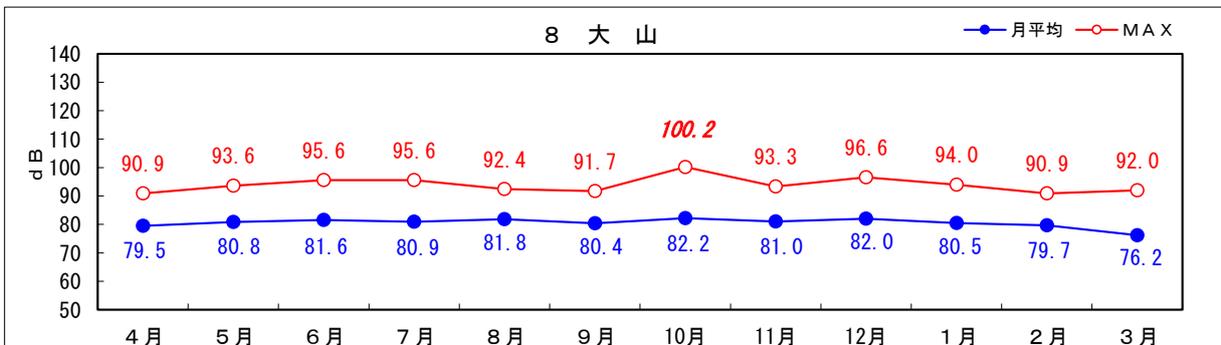
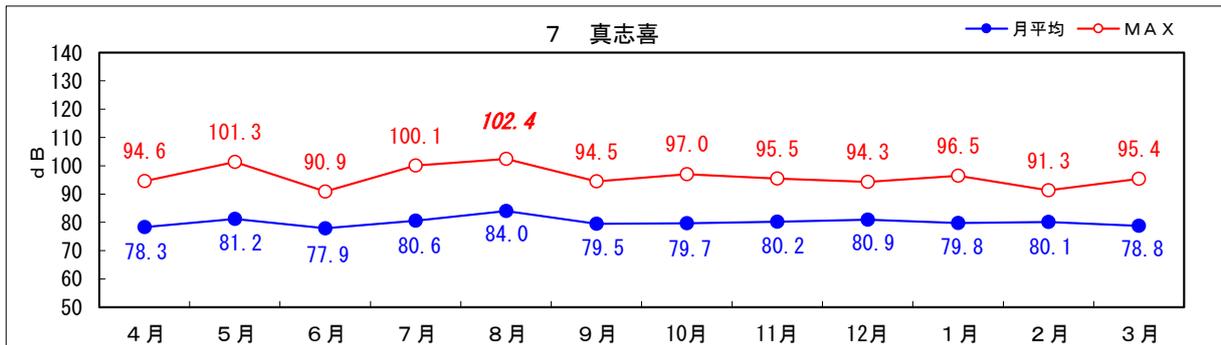
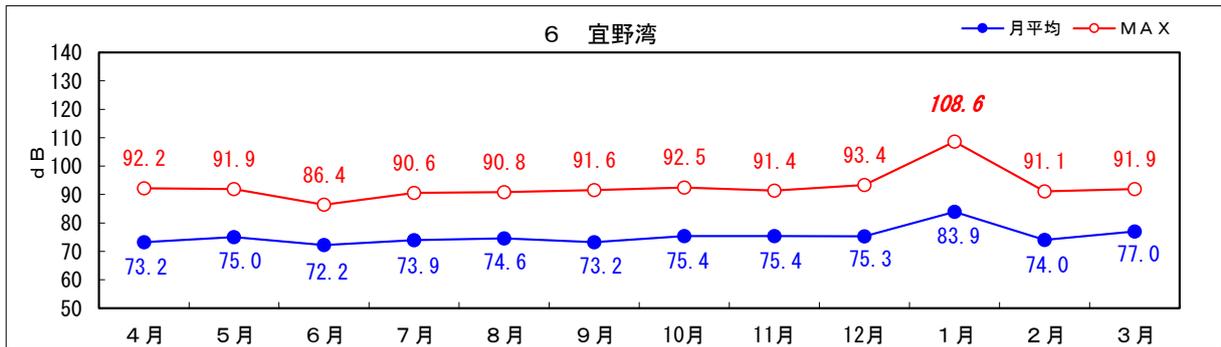
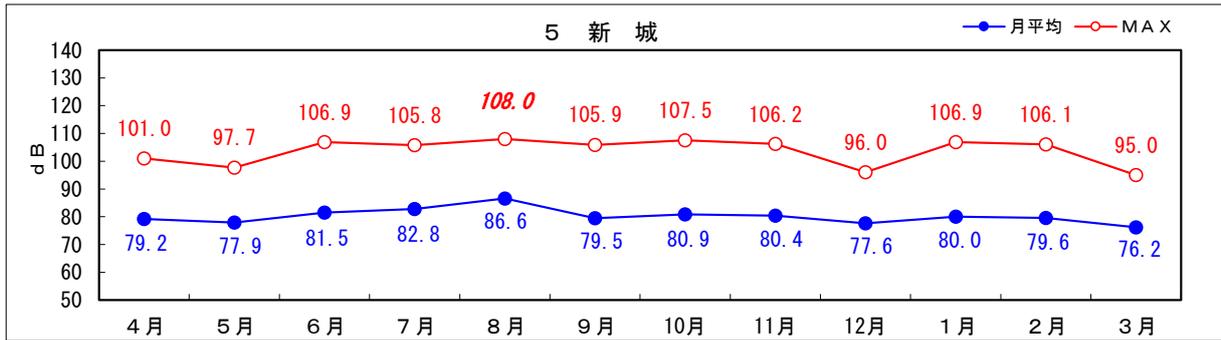


※設置場所を移設し、令和6年2月から同設置場所で測定開始。



※ MAX値のうち斜体太字は測定局における年間最高値を示す。

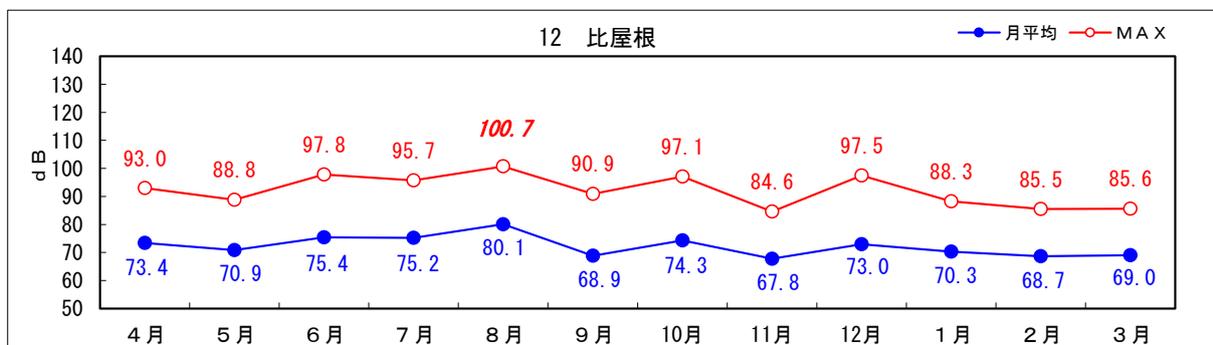
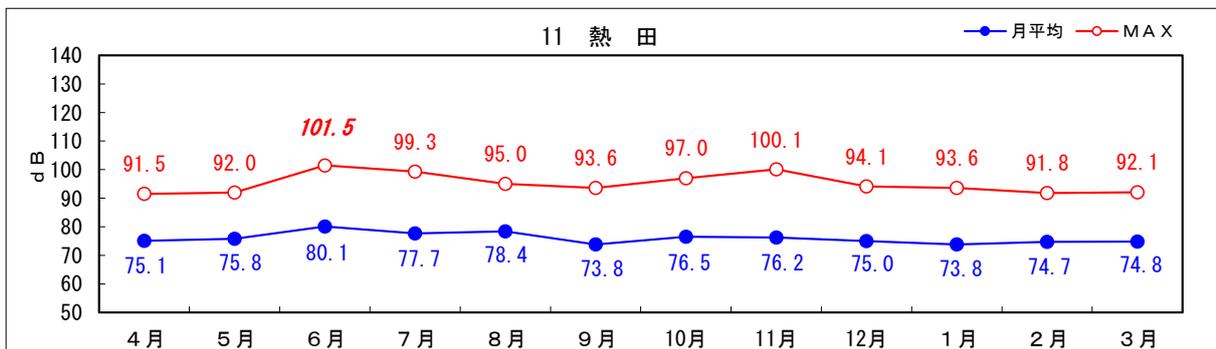
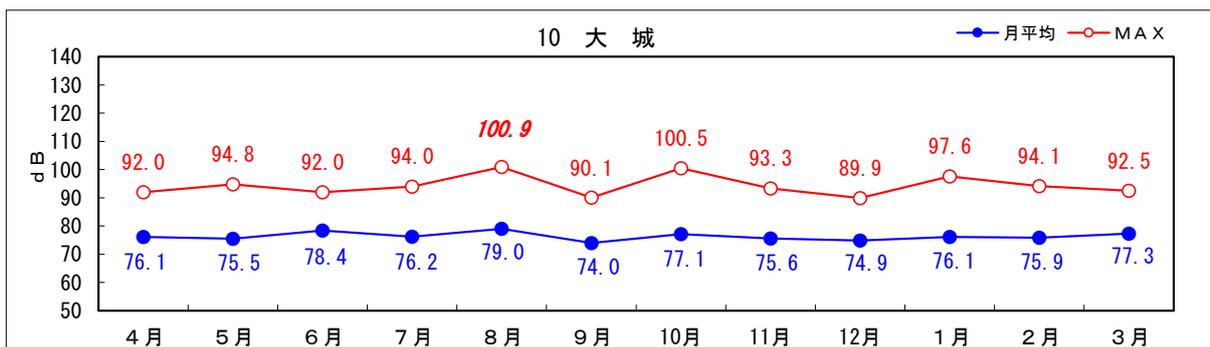
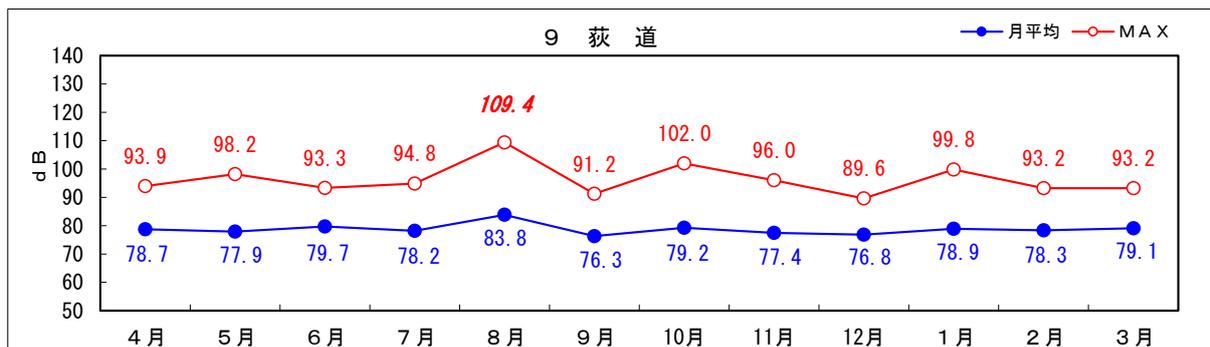
図 F 6 月別の平均ピークレベルと最大ピークレベル（普天間）



※設置場所を移設し、令和6年3月から同設置場所で測定開始。

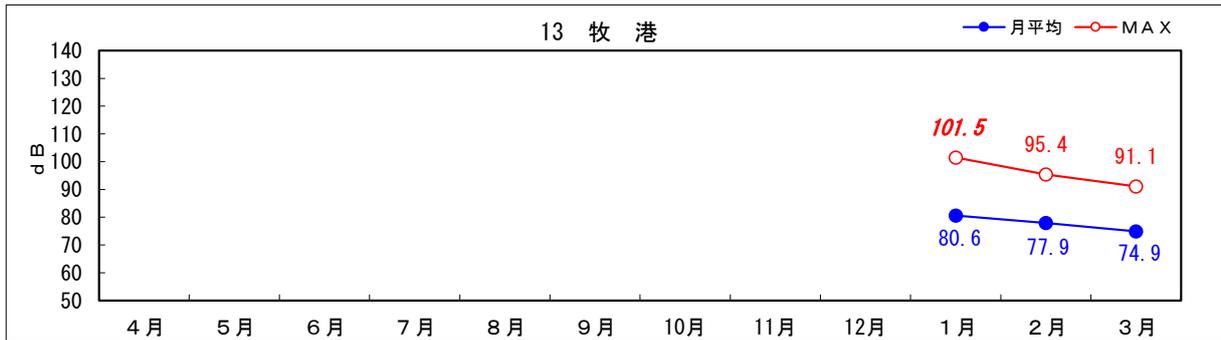
※ MAX値のうち斜体太字は測定局における年間最高値を示す。

図 F 6-2 月別の平均ピークレベルと最大ピークレベル (普天間)

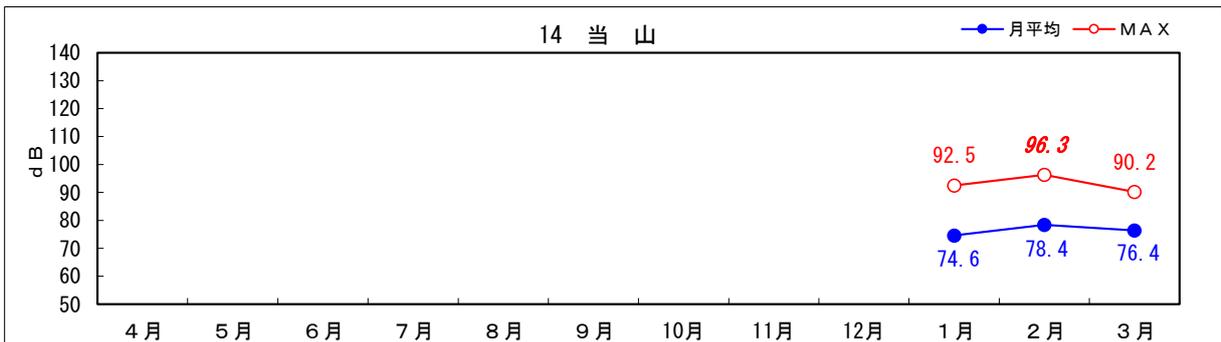


※ MAX値のうち斜体太字は測定局における年間最高値を示す。

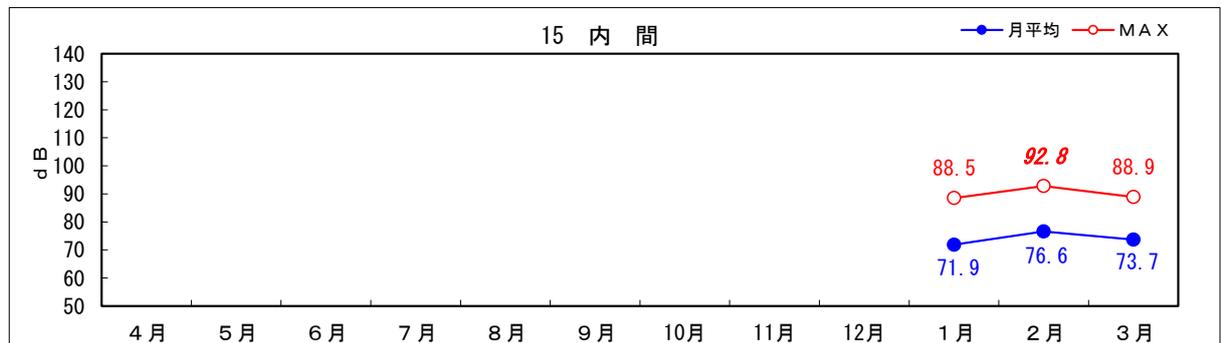
図 F 6-3 月別の平均ピークレベルと最大ピークレベル (普天間)



※欠測期間が2か月を超えるため参考値扱い。  
 ※令和6年1月から測定装置及び測定条件を変更。



※欠測期間が2か月を超えるため参考値扱い。  
 ※令和6年1月から測定装置及び測定条件を変更。



※欠測期間が2か月を超えるため参考値扱い。  
 ※令和6年1月から測定装置及び測定条件を変更。

※ MAX値のうち斜体太字は測定局における年間最高値を示す。

図 F 6-4 月別の平均ピークレベルと最大ピークレベル (普天間)

表 F 2 曜日別の騒音発生回数（普天間）

(回/日)

測定地点	年度	日	月	火	水	木	金	土
1 野 嵩	R4	2.7	20.4	34.5	39.3	39.9	22.7	8.7
	R5	3.1	18.2	33.3	34.8	40.0	24.1	6.1
2 愛 知	R4	1.4	10.1	16.7	18.6	19.9	9.7	4.0
	R5	2.0	7.6	18.6	18.4	22.6	12.2	4.0
3 我如古	R4	1.4	10.3	17.3	18.3	21.1	11.2	3.7
	R5	2.1	7.0	17.2	15.5	21.1	11.3	3.9
4 上大謝名	R4	6.9	30.6	49.9	56.1	54.6	32.1	14.9
	R5	5.4	25.7	54.5	54.9	58.5	35.6	10.3
5 新 城	R4	6.0	30.4	54.9	61.3	61.4	33.5	13.0
	R5	5.7	26.8	63.0	61.7	76.0	43.3	12.9
6 宜野湾	R4	5.7	20.3	29.7	33.0	33.0	21.9	10.5
	R5	8.2	20.2	34.5	34.8	42.1	27.0	10.7
7 真志喜	R4	2.5	15.5	32.4	34.7	33.5	17.1	6.2
	R5	4.1	11.6	31.4	27.5	31.5	16.3	5.8
8 大 山	R4	3.3	10.1	22.1	23.3	22.2	9.8	4.3
	R5	3.8	9.6	22.3	19.3	22.2	12.3	4.8
9 荻 道	R4	5.3	18.8	31.5	35.4	37.5	22.1	10.6
	R5	5.7	17.1	29.2	31.2	35.5	20.8	7.5
10 大 城	R4	11.2	21.8	37.9	40.8	42.5	27.2	16.1
	R5	13.5	24.8	39.2	37.3	42.5	26.9	15.0
11 熱 田	R4	4.5	14.5	27.4	29.3	29.0	17.9	8.4
	R5	8.1	14.2	27.2	28.1	32.3	19.5	7.8
12 比屋根	R4	6.6	16.0	23.8	27.8	26.8	18.6	8.2
	R5	7.7	14.7	24.6	26.3	30.9	20.6	9.0
13 牧 港	R4	3.1	12.6	22.1	24.7	26.6	12.7	7.1
	R5	8.2	20.3	24.1	37.0	40.6	27.9	8.0
14 当 山	R4	0.8	4.8	7.4	6.5	7.4	3.8	2.9
	R5	9.4	18.3	25.1	35.2	39.9	28.6	10.5
15 内 間	R4	1.0	8.1	12.8	12.1	13.0	7.6	5.0
	R5	15.3	17.8	36.8	44.7	24.9	22.2	6.1

参考値

参考値

参考値

参考値

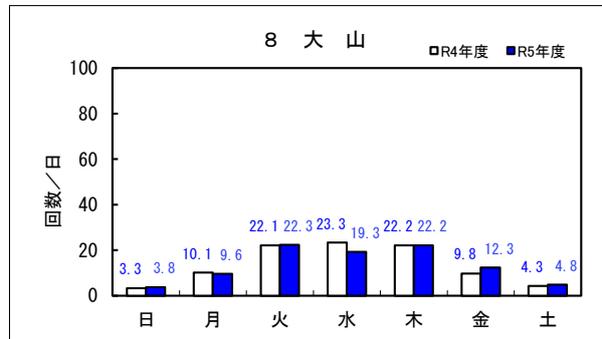
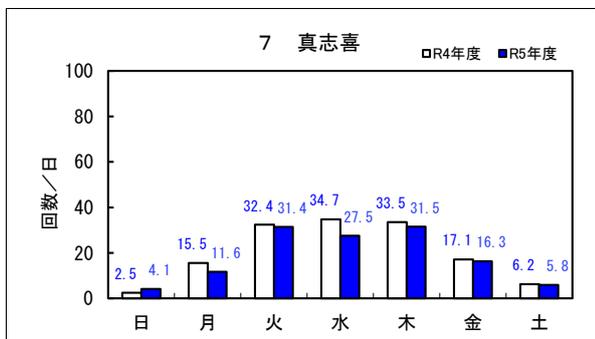
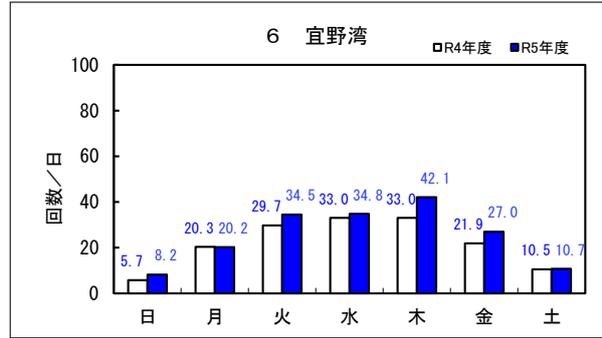
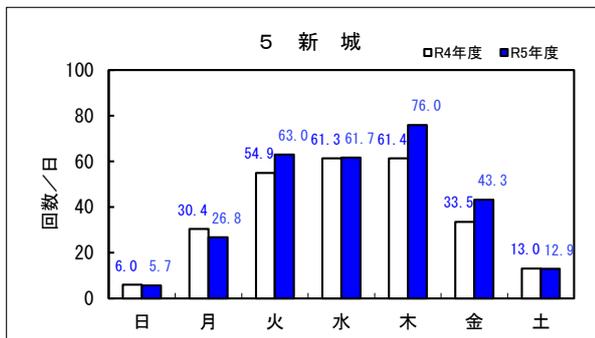
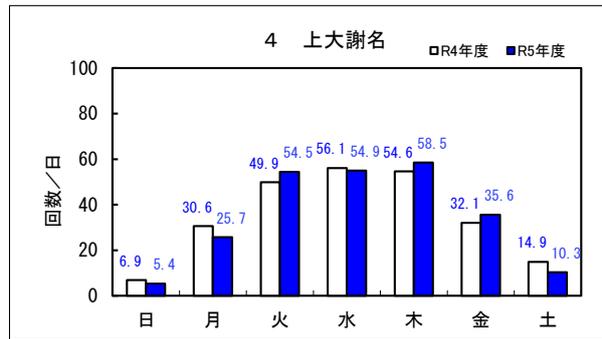
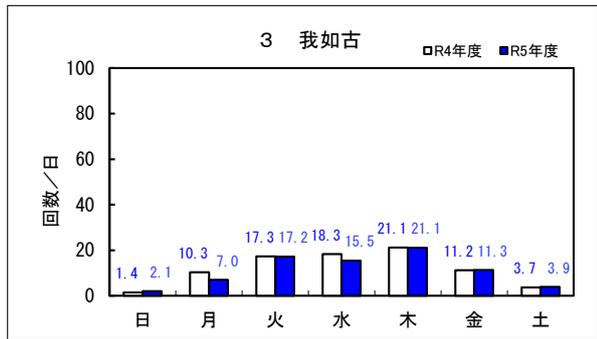
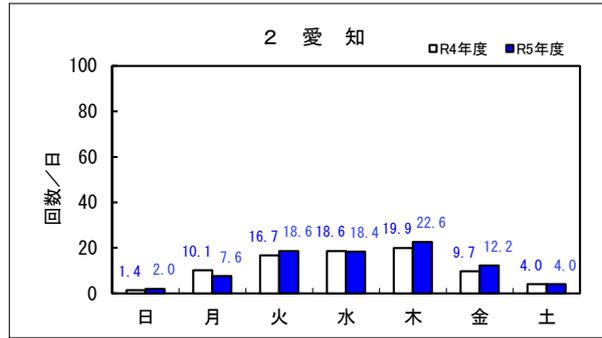
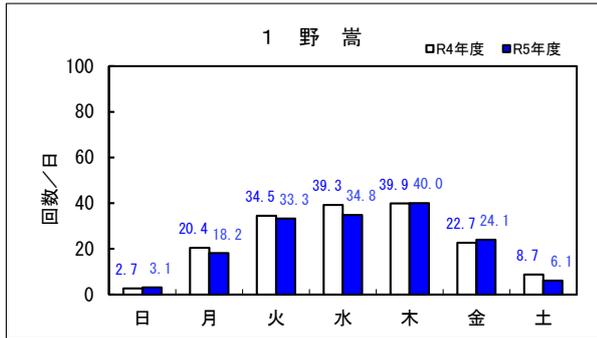
※R4年度：当山局は欠測期間が2カ月を超えたため参考値扱い(欠測率21.1%)。

※R5年度：牧港局、当山局及び内間局は欠測期間が2ヶ月を超えるため参考値扱い(欠測率：牧港局 82.2%、当山局及び内間局：82.0%)。

※愛知局は設置場所を移設し、令和6年2月から同設置場所で測定開始。

※大山局は設置場所を移設し、令和6年3月から同設置場所で測定開始。

※牧港局、当山局及び内間局は令和5年度(令和6年1月測定開始)から測定装置及び測定条件を変更。



図F7 曜日別の騒音発生回数（普天間）

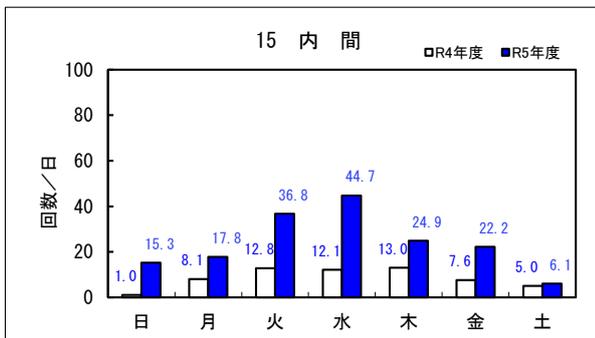
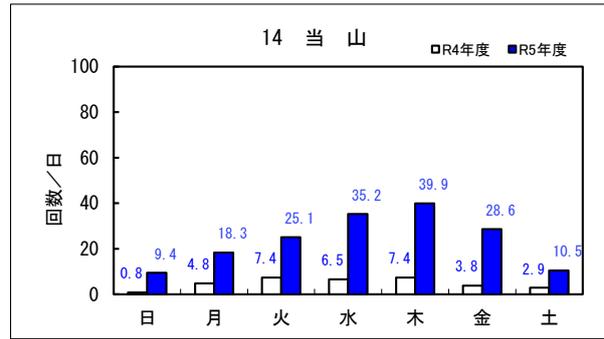
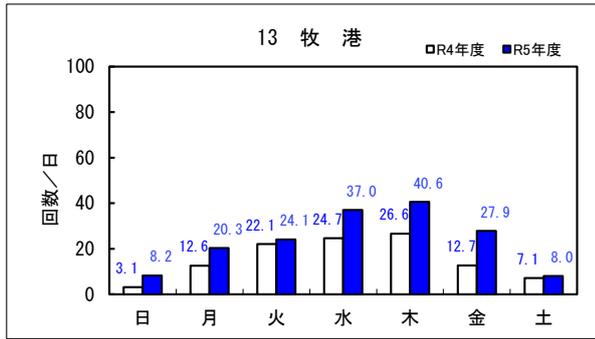
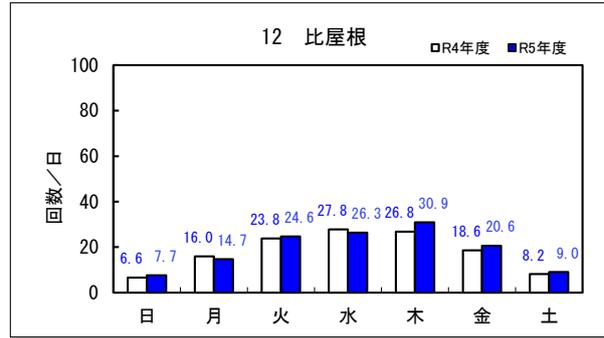
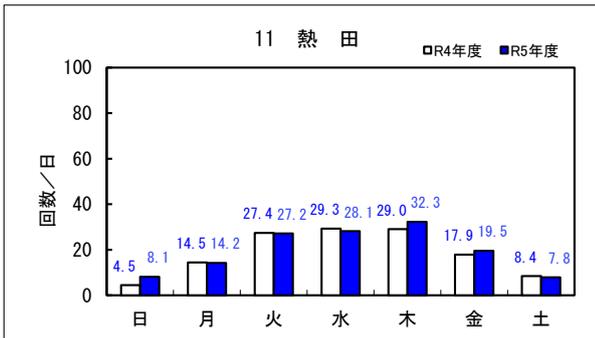
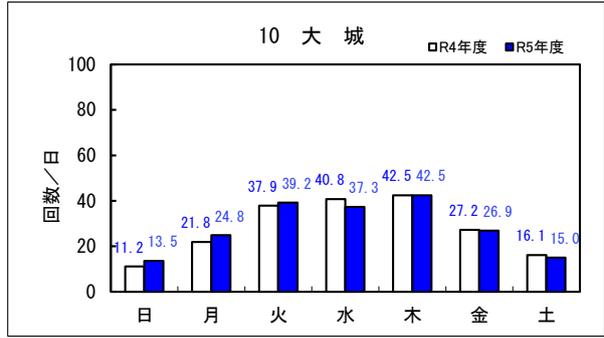
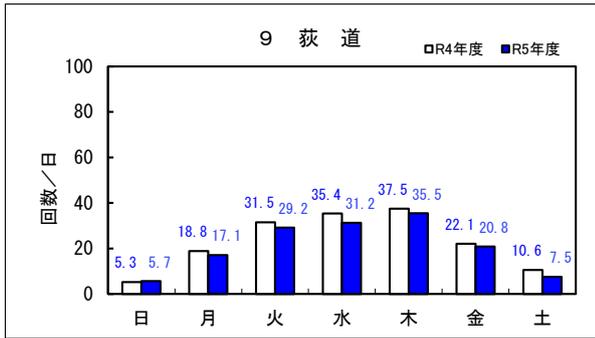


図 F 7-2 曜日別の騒音発生回数（普天間）

表 F 3 時間帯別の月平均騒音発生回数 (普天間)

(回/月)

測定局	時間 年度	N1(00~07)		N2(07~19)		N3(19~22)		N4(22~24)		終日	N1+N4	22~06	前年度比較				
		回数	比率	回数	比率	回数	比率	回数	比率				終日	N1+N4	22~06		
1 野 嵩	R4	3.5	0.5%	601.1	84.2%	96.4	13.5%	13.1	1.8%	714.1	16.6	15.7					
	R5	4.1	0.6%	558.9	86.3%	71.3	11.0%	13.5	2.1%	647.7	17.6	17.0	減	増	増		
2 愛 知	R4	1.3	0.4%	278.1	79.6%	60.1	17.2%	9.7	2.8%	349.2	11.0	10.7					
	R5	3.8	1.0%	296.7	80.3%	55.1	14.9%	13.8	3.7%	369.4	17.6	17.2	増	増	増		
3 我如古	R4	2.3	0.6%	286.3	78.9%	64.5	17.8%	9.9	2.7%	362.9	12.1	11.6					
	R5	4.3	1.3%	262.1	77.6%	55.5	16.4%	15.9	4.7%	337.8	20.1	19.5	減	増	増		
4 上大謝名	R4	6.3	0.6%	848.6	81.7%	163.1	15.7%	21.2	2.0%	1,039.1	27.4	25.3					
	R5	9.1	0.9%	806.2	82.4%	134.9	13.8%	28.5	2.9%	978.6	37.6	35.7	減	増	増		
5 新 城	R4	5.8	0.6%	786.1	81.9%	147.7	15.4%	20.2	2.1%	959.8	26.0	22.7					
	R5	11.6	1.0%	932.0	80.0%	182.7	15.7%	39.5	3.4%	1,165.7	51.0	46.3	増	増	増		
6 宜野湾	R4	5.4	0.8%	539.6	82.1%	97.3	14.8%	15.2	2.3%	657.4	20.6	18.3					
	R5	6.2	1.0%	520.7	82.3%	83.9	13.3%	22.1	3.5%	632.9	28.3	26.8	減	増	増		
7 真志喜	R4	4.4	0.7%	483.9	78.5%	113.3	18.4%	14.7	2.4%	616.3	19.1	18.2					
	R5	16.4	2.9%	426.0	76.5%	92.6	16.6%	22.0	3.9%	557.0	38.4	37.3	減	増	増		
8 大 山	R4	20.0	4.8%	289.8	70.2%	85.3	20.6%	18.0	4.4%	413.1	38.0	36.5					
	R5	31.0	7.6%	283.9	69.3%	72.5	17.7%	22.3	5.5%	409.8	53.3	51.3	減	増	増		
9 荻 道	R4	3.4	0.5%	596.5	85.2%	88.1	12.6%	12.1	1.7%	700.1	15.5	14.1					
	R5	4.6	0.7%	555.2	87.0%	65.5	10.3%	13.1	2.0%	638.3	17.7	16.8	減	増	増		
10 大 城	R4	4.8	0.6%	705.6	82.3%	123.9	14.4%	23.3	2.7%	857.7	28.2	26.0					
	R5	8.2	0.9%	739.3	85.4%	95.3	11.0%	23.0	2.7%	865.8	31.2	29.3	増	増	増		
11 熱 田	R4	2.8	0.5%	453.5	79.7%	92.0	16.2%	20.8	3.6%	569.0	23.5	22.5					
	R5	7.4	1.2%	472.3	79.5%	88.2	14.9%	26.0	4.4%	593.9	33.3	32.1	増	増	増		
12 比屋根	R4	2.4	0.4%	442.3	79.7%	89.9	16.2%	20.5	3.7%	555.2	22.9	21.7					
	R5	6.8	1.2%	465.0	80.0%	86.9	15.0%	22.3	3.8%	581.0	29.2	28.2	増	増	増		
13 牧 港	R4	7.2	1.5%	369.6	78.2%	79.8	16.9%	16.1	3.4%	472.7	23.3	21.6					
	R5	15.5	2.2%	633.5	89.3%	47.9	6.8%	12.2	1.7%	709.0	27.7	24.9	-	-	-		
14 当 山	R4	3.6	2.5%	108.1	74.2%	31.2	21.4%	2.9	2.0%	145.7	6.4	4.3					
	R5	7.4	1.0%	662.2	92.3%	38.8	5.4%	8.8	1.2%	717.2	16.2	14.3	-	-	-		
15 内 間	R4	3.5	1.3%	216.0	83.4%	36.4	14.0%	3.2	1.2%	259.0	6.7	5.6					
	R5	8.8	1.2%	646.0	90.0%	55.9	7.8%	6.9	1.0%	717.7	15.7	12.0	-	-	-		
前年度より増加した測定局数												5	12	12			

参考値  
参考値  
参考値  
参考値

※R4年度：当山局は欠測期間が2カ月を超えたため参考値扱い(欠測率21.1%)。  
 ※R5年度：牧港局、当山局及び内間局は欠測期間が2ヶ月を超えるため参考値扱い(欠測率：牧港局 82.2%、当山局及び内間局：82.0%)。  
 ※愛知局は設置場所を移設し、令和6年2月から同設置場所で測定開始。  
 ※大山局は設置場所を移設し、令和6年3月から同設置場所で測定開始。  
 ※牧港局、当山局及び内間局は令和5年度(令和6年1月測定開始)から測定装置及び測定条件を変更。

【本表における時間帯別月平均騒音発生回数の算出方法】

$$\text{観測された時間帯別騒音発生回数の年間合計(回/年)} \times \frac{365(\text{日/年})(※)}{\text{観測日数(日/年)}} \div 12(\text{月/年})$$

※対象期間に「うるう日(2月29日)」を含む場合、366(日/年)

表 F 4 1日ごとのLdenが57dB又は62dBを超過した日数（普天間）

	1 ■ 野 嵩	2 □ 愛 知	3 ■ 我如古	4 ■ 上大謝名	5 ■ 新 城	6 ■ 宜野湾	7 ■ 真志喜	8 □ 大 山	9 ■ 荻 道	10 ■ 大 城	11 ■ 熱 田	13 ■ 牧 港	14 ■ 当 山
測定日数	362	364	365	358	364	365	366	366	366	366	356	65	66
達成日数	272	361	361	220	275	354	315	360	345	351	353	65	64
超過日数	90	3	4	138	89	11	51	6	21	15	3	0	2
超過率	24.9%	0.8%	1.1%	38.5%	24.5%	3.0%	13.9%	1.6%	5.7%	4.1%	0.8%	0.0%	3.0%

※“■”が付いた測定局は57dB、“□”が付いた測定局は62dBを超えた日数

※15局中No.12比屋根局及びNo.15内間局の2局については、類型未指定のため省略。

※愛知局は設置場所を移設し、令和6年2月から同設置場所での測定開始。

※大山局は設置場所を移設し、令和6年3月から同設置場所での測定開始。移設に伴い環境基準の地域類型が類型Ⅰから類型Ⅱに変更。

※牧港局、当山局及び内間局は令和5年度（令和6年1月測定開始）から測定装置及び測定条件を変更。

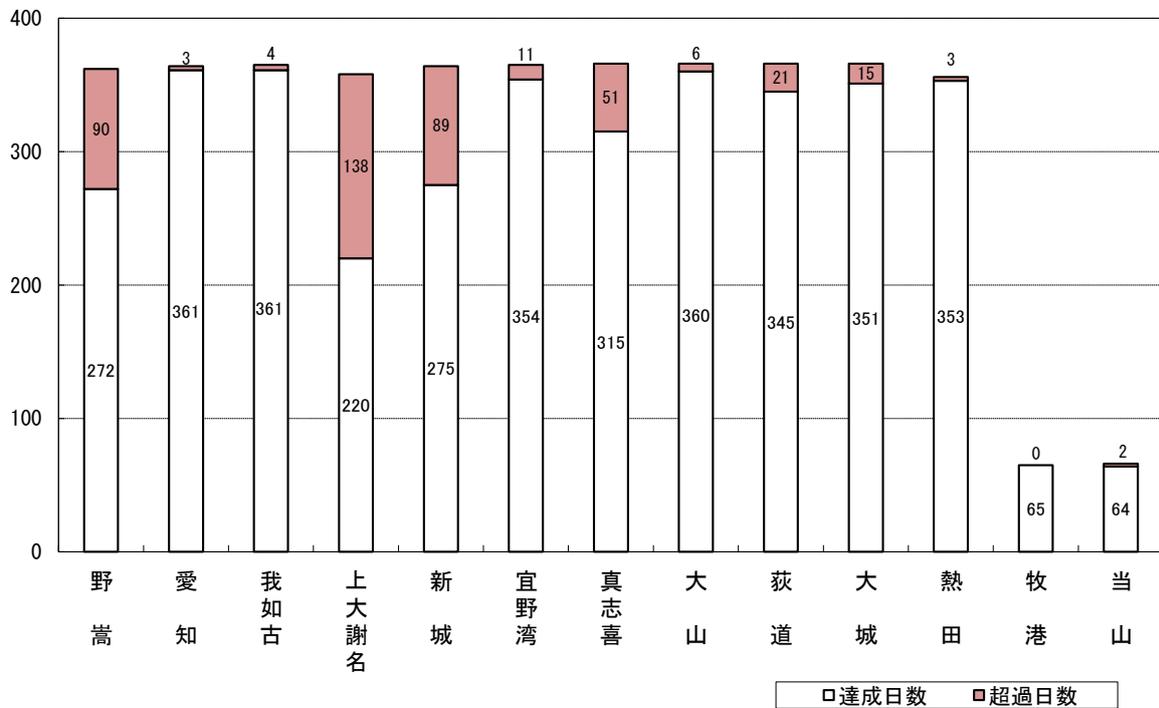
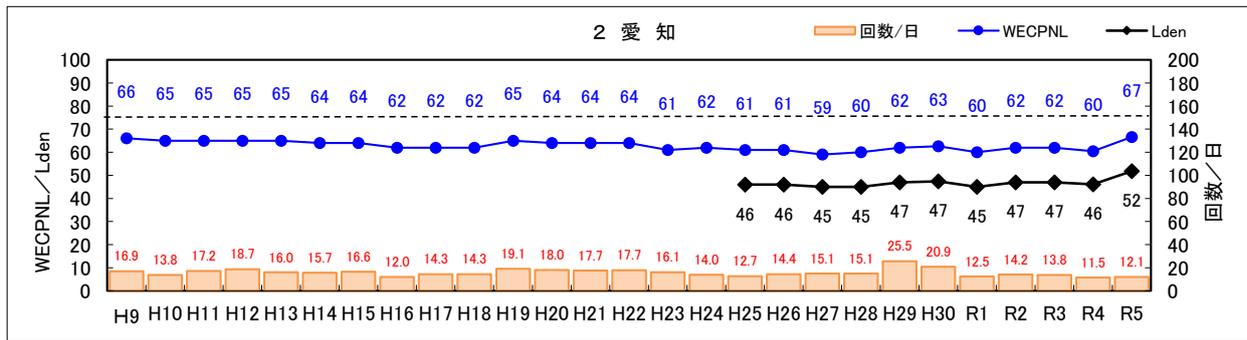
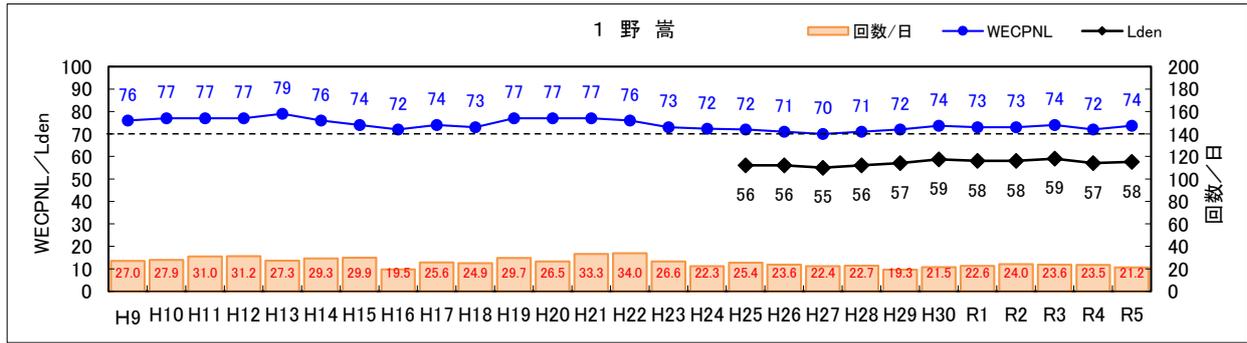
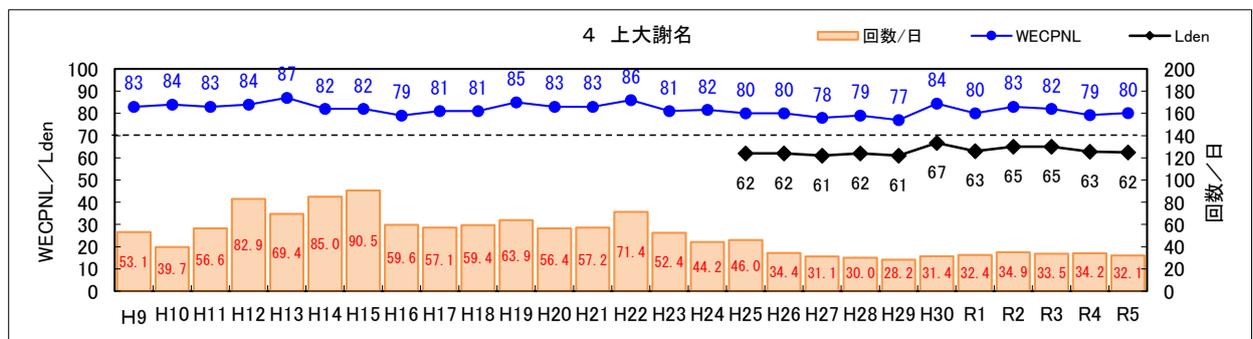
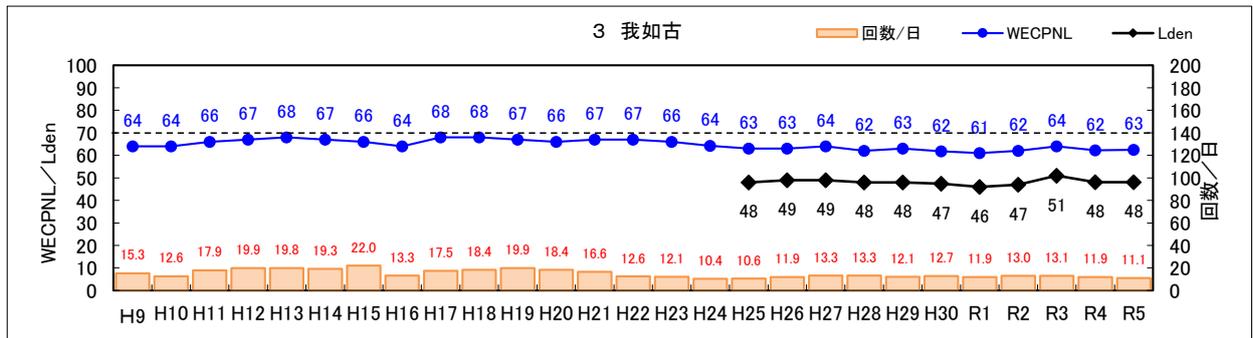


図 F 8 1日ごとのLdenが57dB又は62dBを超過した日数（普天間）

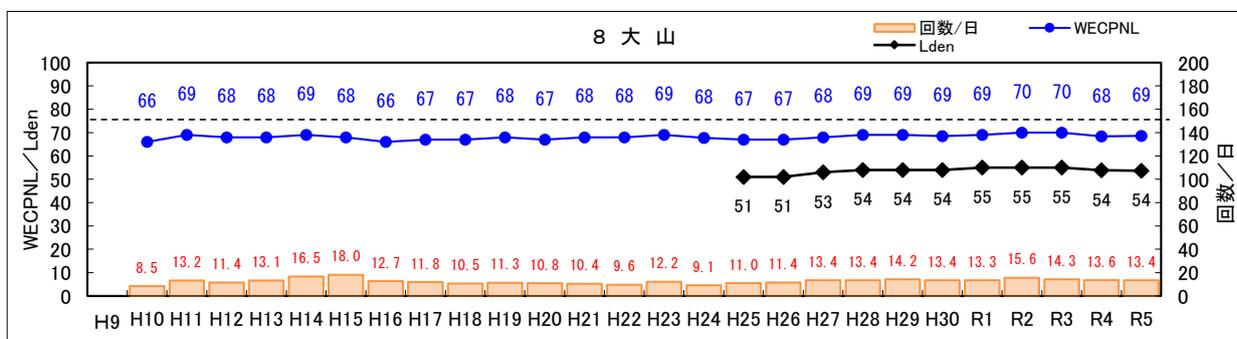
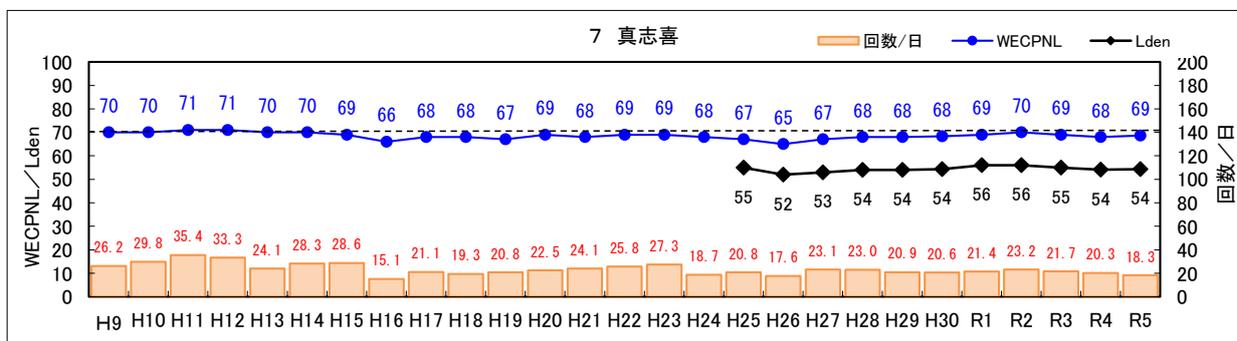
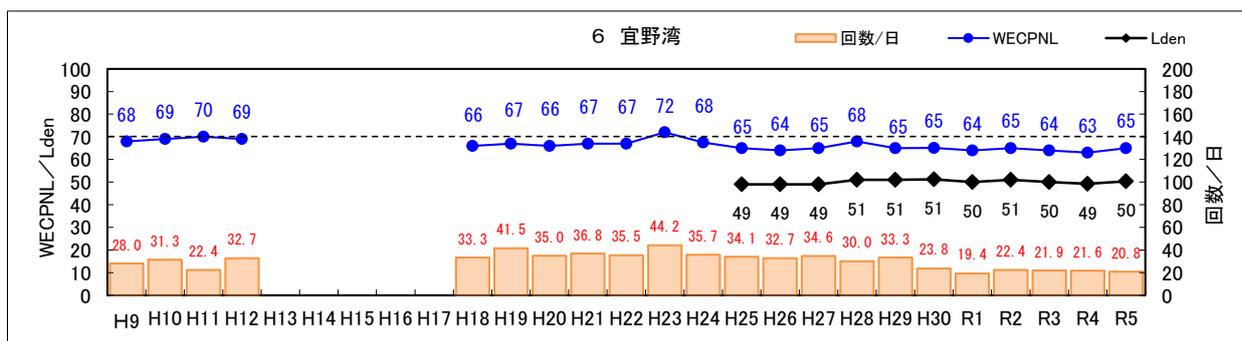
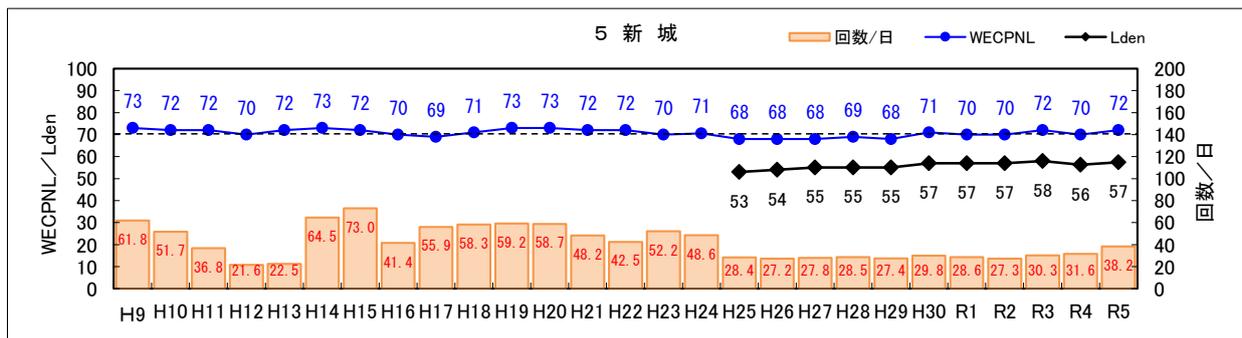


※設置場所を移設し、令和6年2月から同設置場所にて測定開始。



※ 図中の横破線は旧環境基準値(WECPNL)のラインを示す。

図 F 9 WECPNL、Ldenと1日あたりの騒音発生回数の年度別推移(普天間)

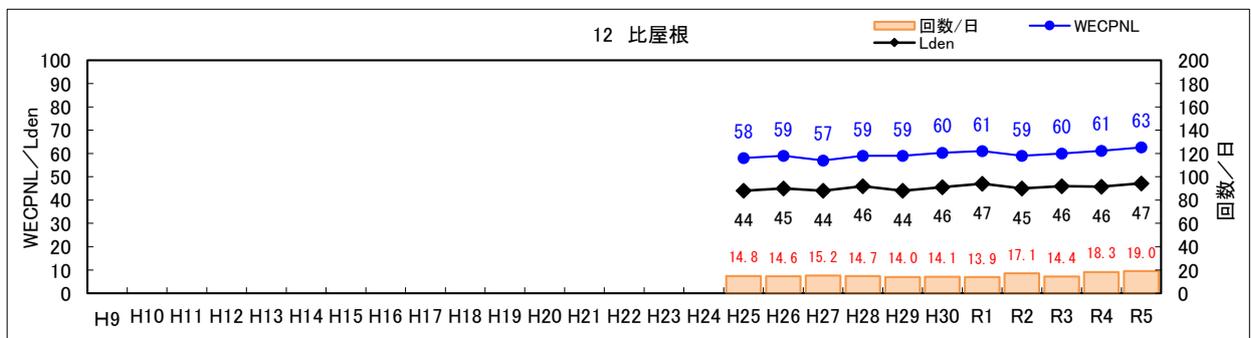
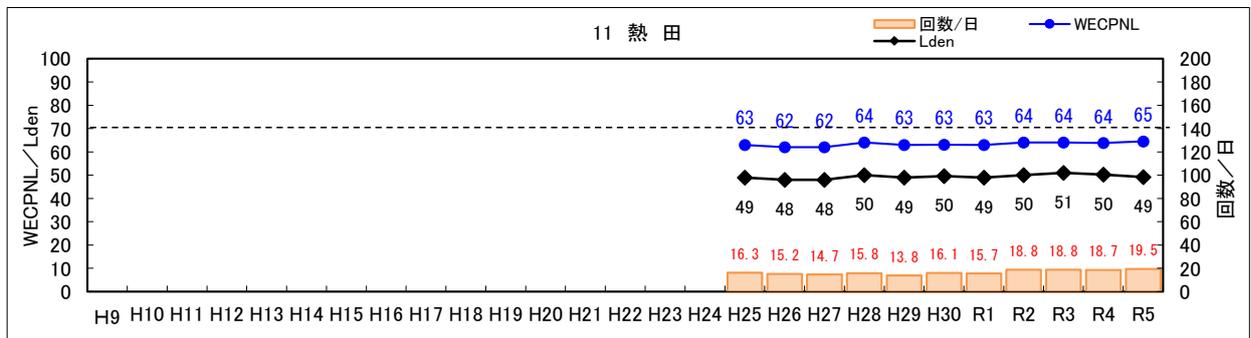
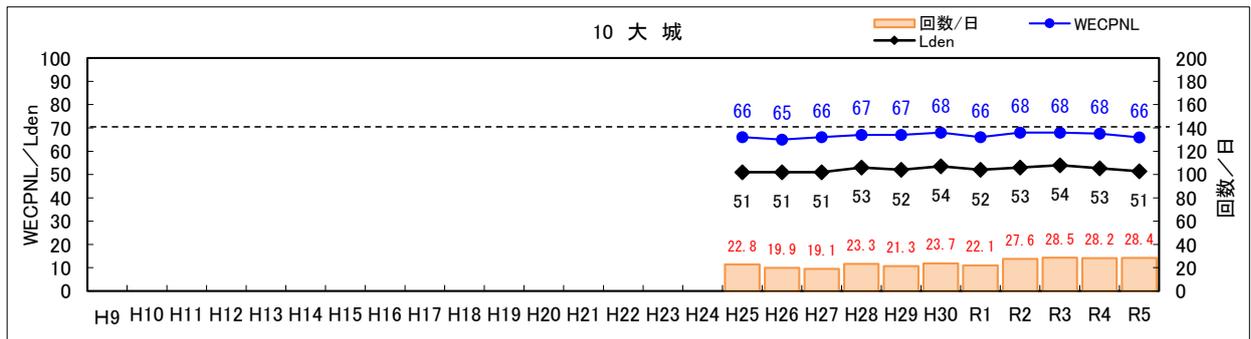
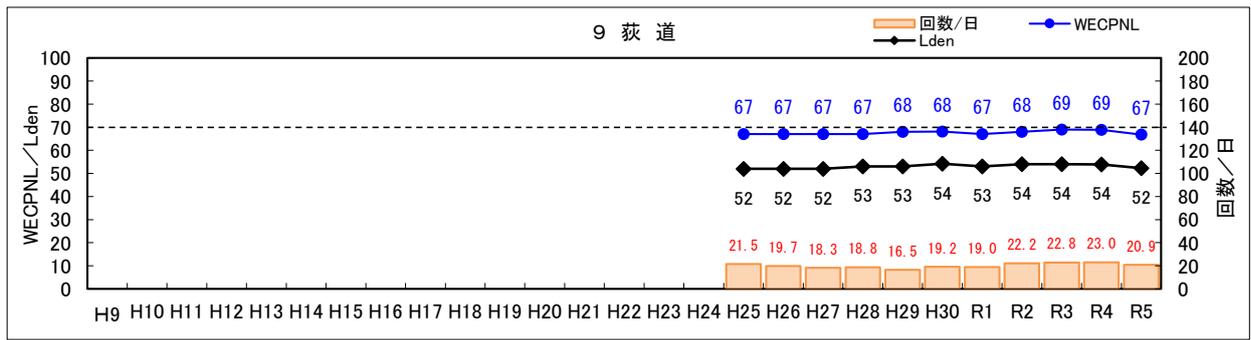


※設置場所を移設し、令和6年3月から同設置場所で測定開始。

また、移設に伴い環境基準の地域類型が類型Ⅱから類型Ⅰに変更(図中の横破線は類型Ⅱの旧環境基準値のライン)。

※ 図中の横破線は旧環境基準値(WECPNL)のラインを示す。

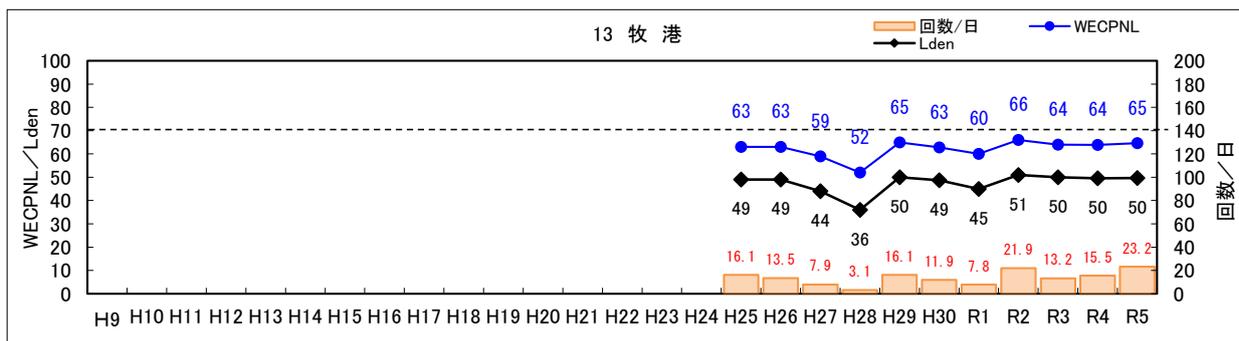
図 F 9-2 WECPNL、Ldenと1日あたりの騒音発生回数の年度別推移(普天間)



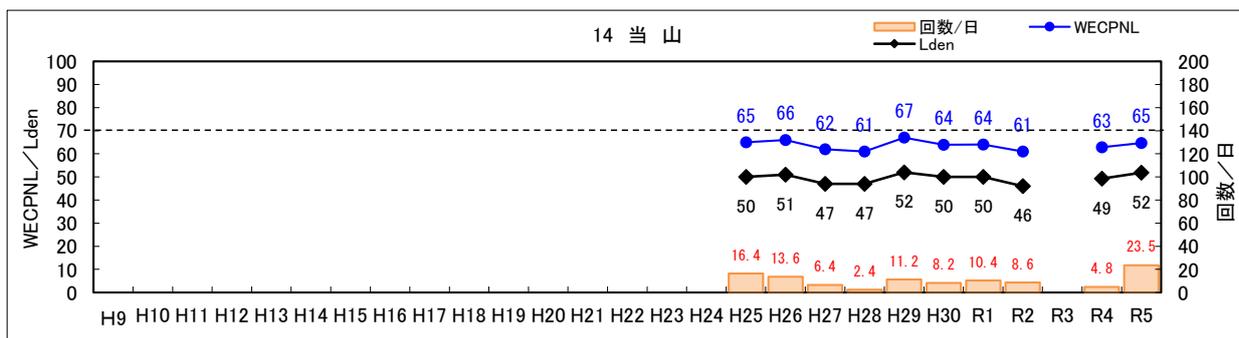
※環境基準類型未指定

※ 図中の横破線は旧環境基準値(WECPNL)のラインを示す。

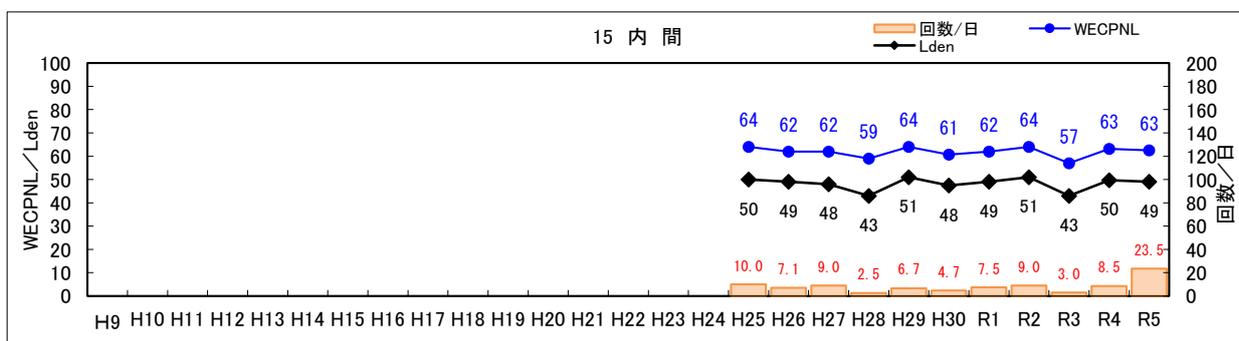
図 F 9-3 WECPNL、Ldenと1日あたりの騒音発生回数の年度別推移(普天間)



※令和5年度は欠測期間が2か月を超えるため参考値扱い。  
 ※令和5年度(令和6年1月測定開始)から測定装置及び測定条件を変更。



※令和5年度は欠測期間が2か月を超えるため参考値扱い。  
 ※令和5年度(令和6年1月測定開始)から測定装置及び測定条件を変更。



※環境基準類型未指定  
 ※令和5年度は欠測期間が2か月を超えるため参考値扱い。  
 ※令和5年度(令和6年1月測定開始)から測定装置及び測定条件を変更。

※ 図中の横破線は旧環境基準値(WECPNL)のラインを示す。

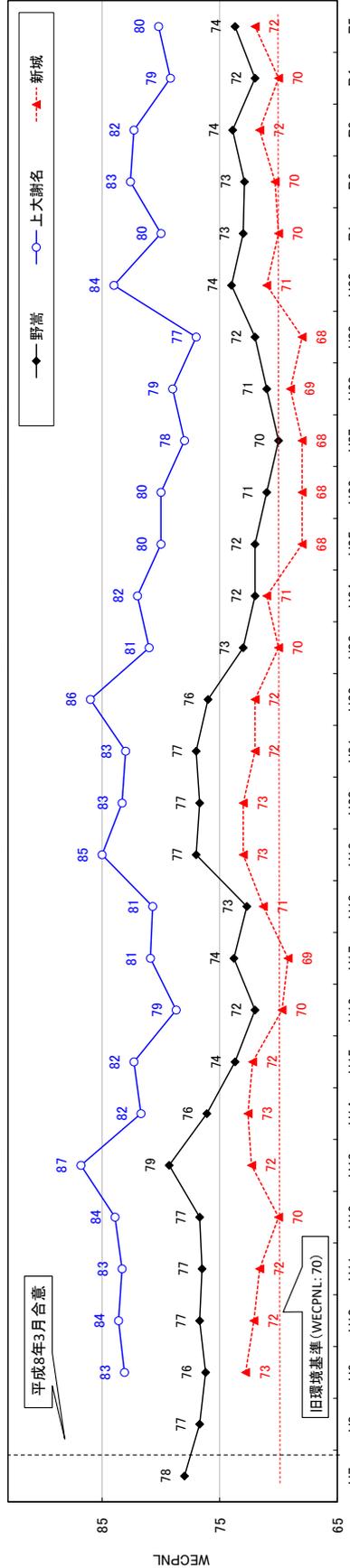
図 F 9-4 WECPNL、Ldenと1日あたりの騒音発生回数の年度別推移(普天間)

表F5 航空機騒音規制措置合意前後の航空機騒音発生状況(普天間)

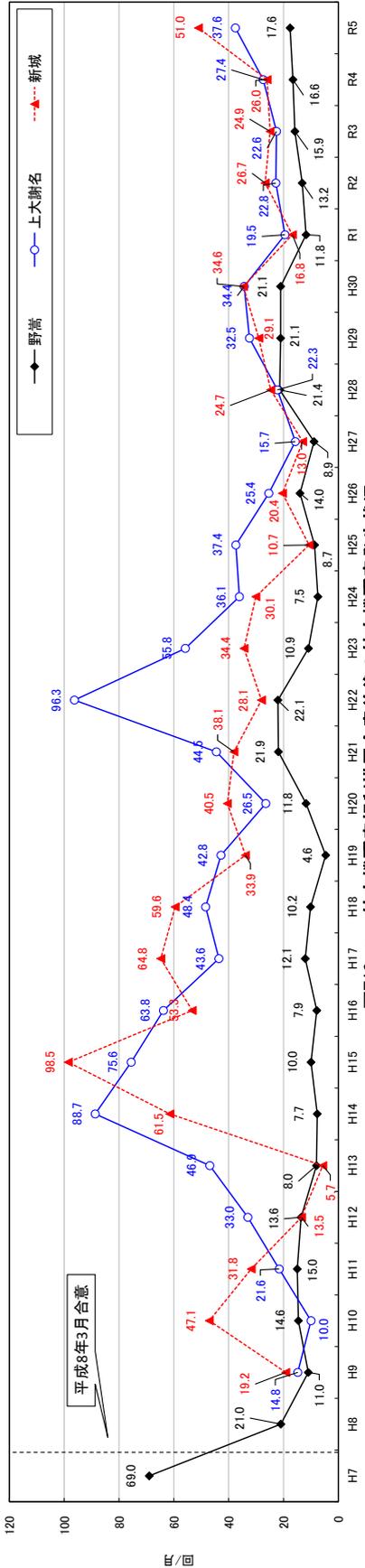
測定地点	合意後																														
	合意前							合意後																							
環境基準値	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5		
野嵩	70	78	77	76	77	77	79	76	74	72	74	73	77	77	76	73	72	72	72	71	70	71	70	71	72	74	73	74	72	74	
上大謝名	70			83	84	87	82	82	82	79	81	81	85	83	86	81	82	81	82	80	80	78	79	77	84	80	83	82	79	80	
新城	70			73	72	70	72	73	72	70	69	71	73	73	72	72	70	70	71	68	68	68	69	68	71	70	72	70	72		
夜間22時～早朝7時までの騒音発生回数(月平均)																															
野嵩	69.0	21.0	11.0	14.6	15.0	13.6	8.0	7.7	10.0	7.9	12.1	10.2	4.6	11.8	21.9	22.1	10.9	7.5	8.7	14.0	8.9	21.4	21.1	21.1	11.8	13.2	15.9	16.6	17.6		
上大謝名				14.8	10.0	21.6	33.0	46.9	88.7	75.6	63.8	43.6	48.4	42.8	26.5	44.5	96.3	55.8	36.1	37.4	25.4	15.7	22.3	32.5	34.4	19.5	22.8	22.6	27.4	37.6	
新城				19.2	47.1	31.8	5.7	61.5	98.5	53.3	64.8	59.6	33.9	40.5	38.1	28.1	34.4	30.1	10.7	20.4	13.0	24.7	29.1	34.6	16.8	26.7	24.9	26.0	51.0		

※ 平成7年度から継続して測定している野嵩局と、規制措置合意後に設置した上大謝名局と新城局について、騒音発生状況を記載した。

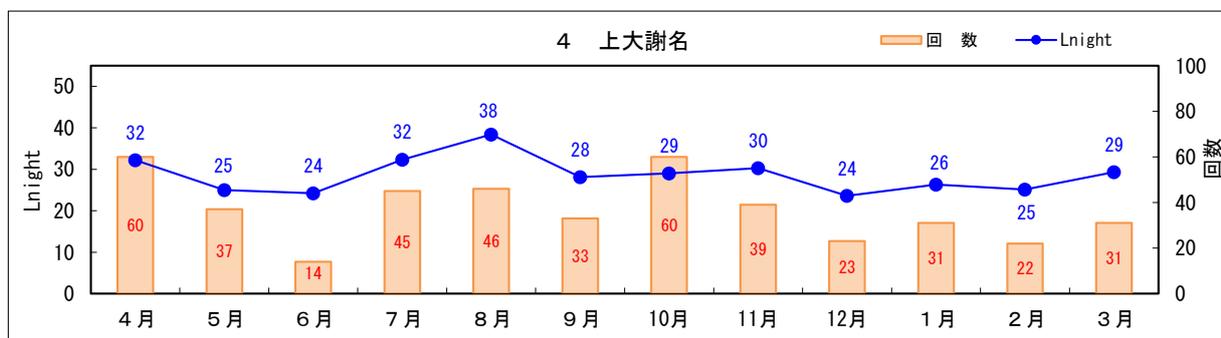
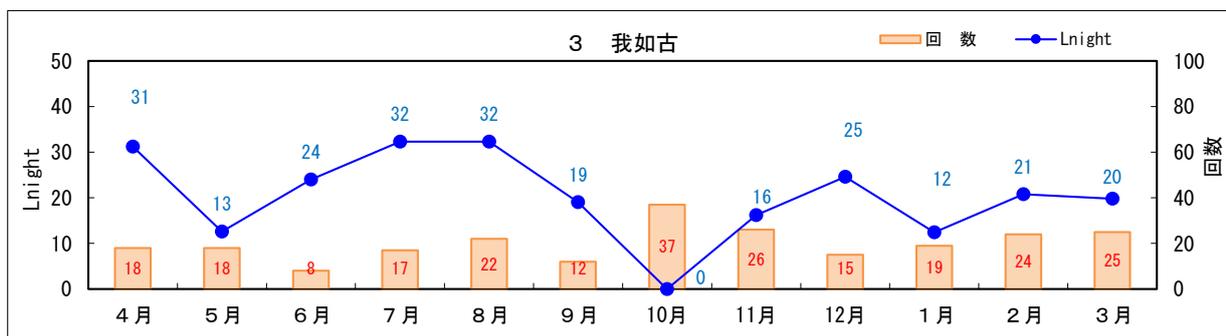
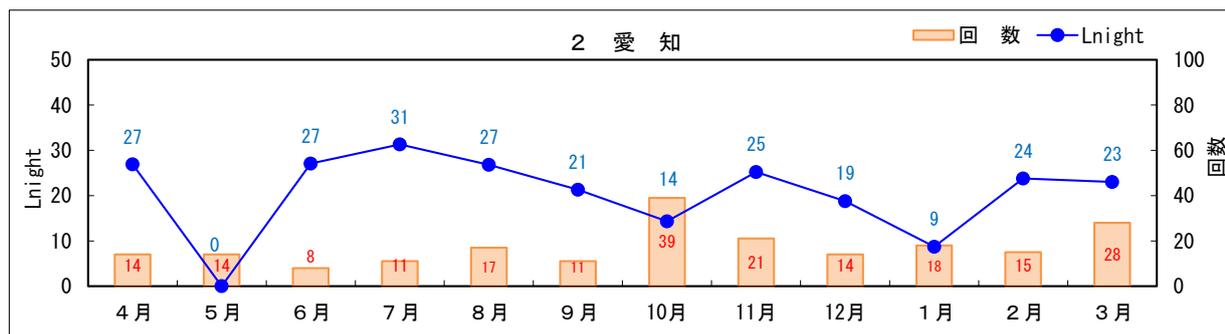
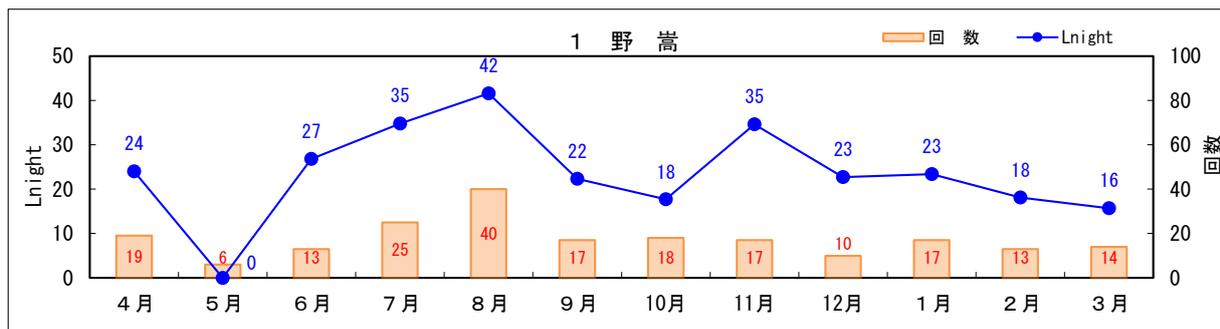
本表における月平均騒音発生回数の算出方法： $\frac{\text{観測された騒音発生回数の年間合計(回/年)}}{12(\text{月/年})} \times \frac{365(\text{日/年})(※)}{\text{観測日数(日/年)}}$   
 ※対象期間に「うるうる日(2月29日)」を含む場合、366(日/年)



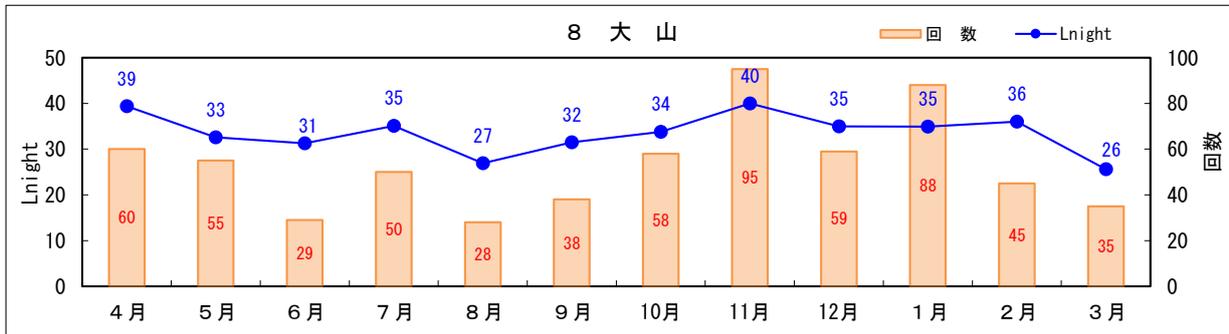
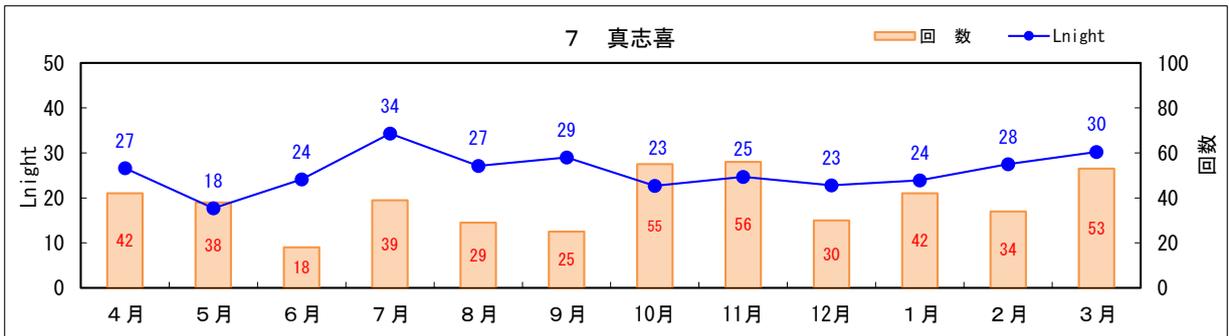
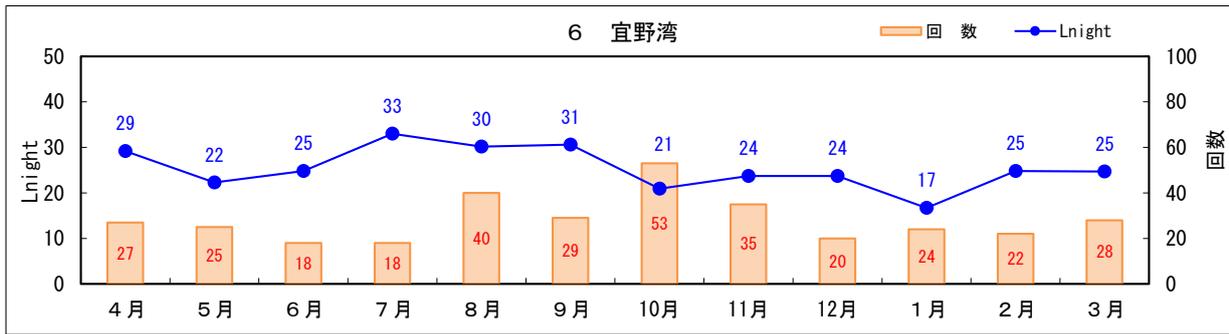
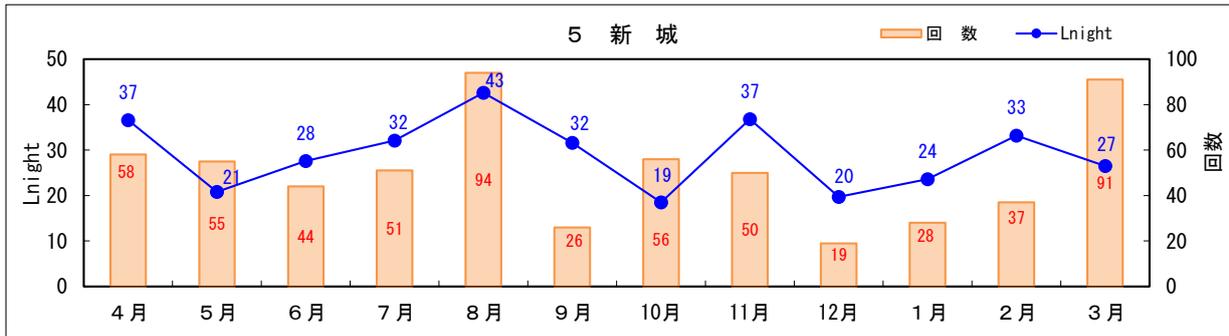
図F10 航空機騒音規制措置合意前後の航空機騒音発生状況(WECPNLの年度別推移)



図F10-2 航空機騒音規制措置合意前後の航空機騒音発生状況(騒音発生回数の年度別推移、夜間(22時)～早朝(7時))

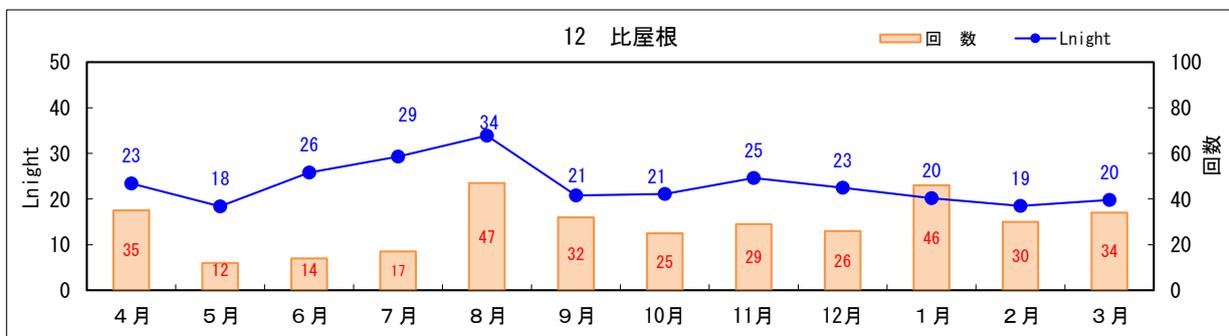
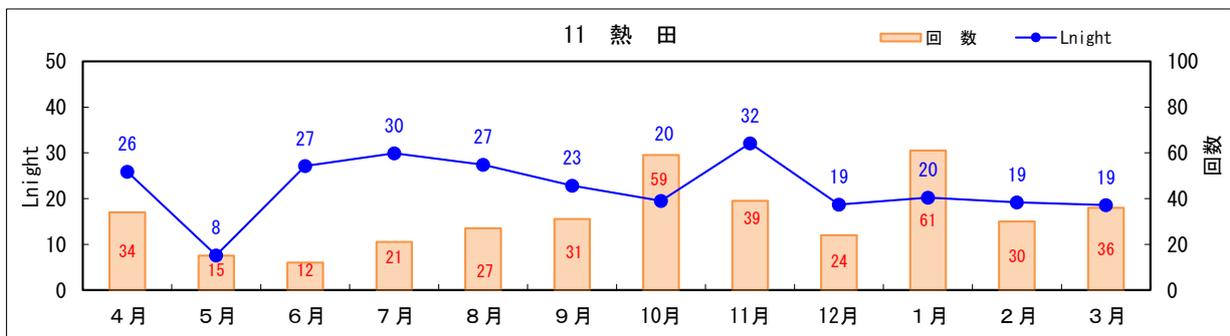
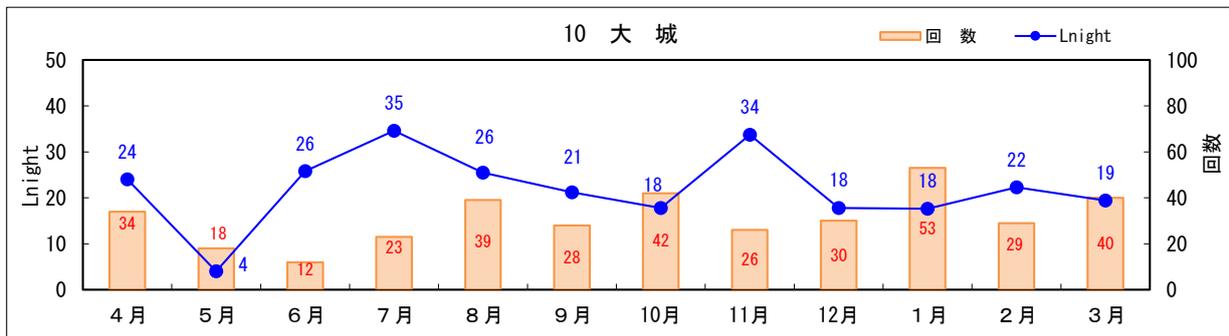
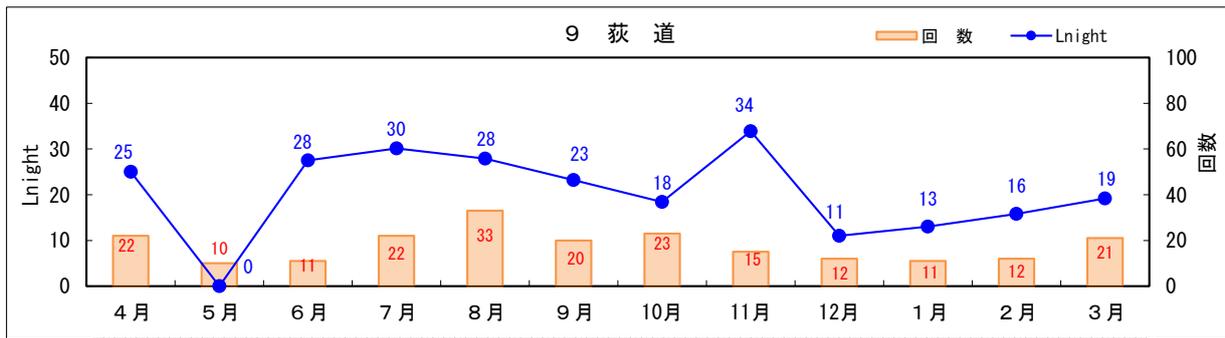


図F11 月別のLnightと夜間早朝（22時～7時）騒音発生回数（普天間）

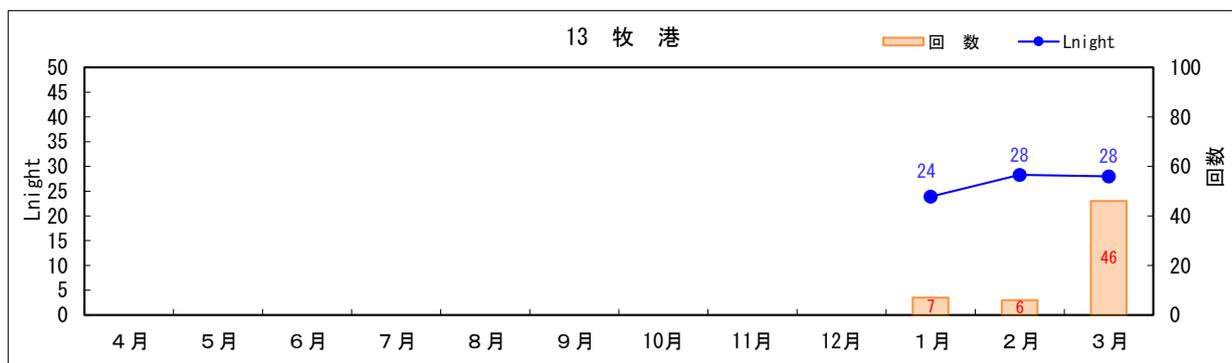


※設置場所を移設し、令和6年3月から同設置場所にて測定開始。

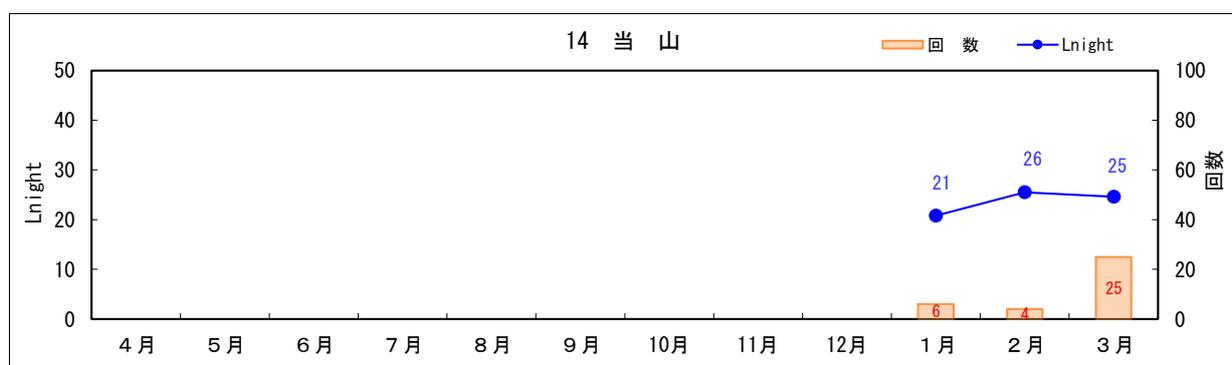
図F11-2 月別のLnightと夜間早朝（22時～7時）騒音発生回数（普天間）



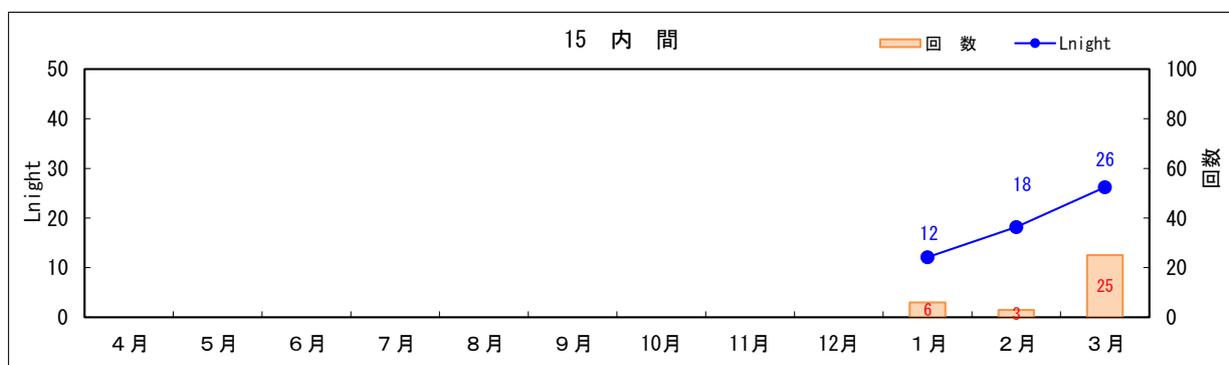
図F11-3 月別のLnightと夜間早朝（22時～7時）騒音発生回数（普天間）



※欠測期間が2か月を超えるため参考値扱い。  
 ※令和6年1月から測定装置及び測定条件を変更。



※欠測期間が2か月を超えるため参考値扱い。  
 ※令和6年1月から測定装置及び測定条件を変更。



※欠測期間が2か月を超えるため参考値扱い。  
 ※令和6年1月から測定装置及び測定条件を変更。

図F11-4 月別のLnightと夜間早朝（22時～7時）騒音発生回数（普天間）